Canon

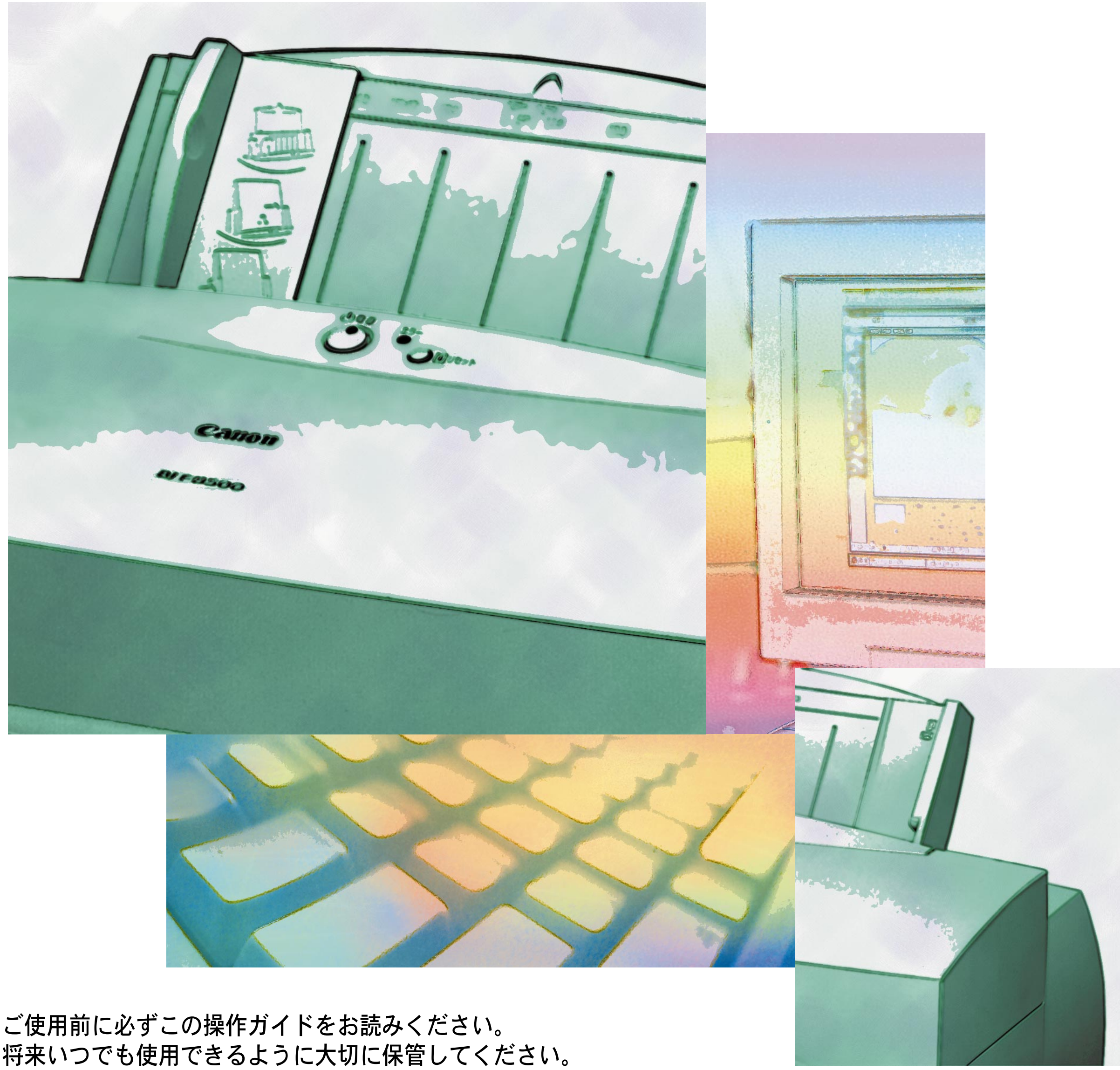
Photo Realism

COLOR BUBBLE JET

BUBBLE JET PRINTER

BJ F8500

操作ガイド



ご使用前に必ずこの操作ガイドをお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

J　QA7-0338-V02

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、
本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

商標について

Canon、BJ および BJC は、キヤノン株式会社の商標です。
Microsoft®、MS-DOS®、Windows®は、米国マイクロソフト社の登録商標、および商標です。
その他の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、最寄りのお客様ご相談窓口までご連絡ください。連絡先は、操作ガイドの巻末に記載しています。
- このプリンタを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

各説明書の読みかた

説明書は全部で6種類

目的や、知りたいこと、プリンタについての知識に応じて使いわけてください。

内容物をご確認ください

開梱時の注意事項や輸送時の注意事項が書かれています

箱の中からプリンタを取り出したら、まず、このスタートガイドをご覧ください

インクや用紙をセットし、ドライバをインストールして、印刷できるようになるまでを、順を追って説明しています

スタートガイド

プリンタのセットアップから印刷できるようにするまで

次はこの説明書

次の説明書は、すでにスタートガイドに従って準備が終わっていることを前提に書かれています

各種用紙への印刷や日常の取り扱いについて知りたい

操作ガイド

- BJ F8500の用途とカラー印刷
- 用紙にあったプリンタの使い方
- 日常のお手入れ
- 下段カセット（オプション）の取り付け方　など



印刷するときのプリンタドライバの設定について知りたい

<Windowsの場合>

Windows プリンタドライバガイド

- オートパレットと各種設定
- プリンタのプロパティの説明
- 印刷テクニックと便利な機能
- Windows 3.1での使用　など



<Macintoshの場合>

Macintosh プリンタドライバガイド

- プリントダイアログと各種設定
- 用紙設定ダイアログの説明
- 印刷テクニックと便利な機能
- など



困ったときの解決法について知りたい

トラブルクリニック

- 用紙のトラブル
- 思ったとおり印刷できない
- プリンタが動かない／途中で止まる
- お問い合わせの前に　など



目　次

表記について

マークの意味

本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のような見出しとマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い　操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

参照　関連する説明が書かれた説明書の該当箇所が書かれています。

Windows　Windowsでの使いかたや機能が説明されています。

Macintosh　Macintoshでの使いかたや機能が説明されています。

⚠安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告

設置場所について

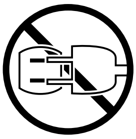


アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因になります。

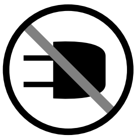
電源について



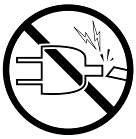
濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



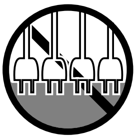
電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。差し込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。



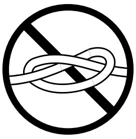
同梱されている電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。また、同梱されている電源コードを他の製品に使用しないでください。



電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また電源コードに重い物をのせないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。



ふたまたソケット等を使ったタコ足配線は行わないでください。火災や感電の原因になります。



電源コードを束ねたり、結んだりして使用しないでください。火災や感電の原因になります。

万一異常が起きたら



万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源コードをコンセントから抜いてください。そしてお近くの販売店までご連絡ください。

清掃の時は



清掃の時は、水で湿した布を使用してください。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因になります。

心臓ペースメーカをご使用の方へ

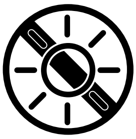
本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

注意

設置場所について



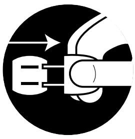
不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。



湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。周囲の温度が5～35度、湿度が10～90%(結露しないこと)の範囲の場所でお使いください。



毛足の長いジュータンやカーペットなどの上に設置しないでください。プリンタ内部に入り込んで火災の原因になることがあります。

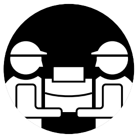


いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの回りには物を置かないでください。万一プリンタに異常が起きたとき、すぐに電源コードが抜けないため、火災や感電の原因になることがあります。



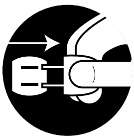
強い磁気を発生する機器の近くや磁界のある場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因となることがあります。

プリンタを持ち運ぶときは

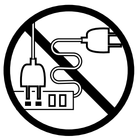


プリンタを持ち運ぶときは、必ず左右から二人で、それぞれお互いに片手でプリンタの両サイド下にあるくぼみの取っ手を持ち、もう一方の手でプリンタを支えながら持ってください。ひとりで持つと不安定なため、落としてけがの原因になることがあります。

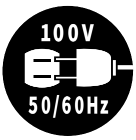
電源について



電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っぱると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。



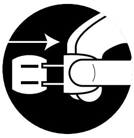
延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。



AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。なおプリンタの動作条件は次の通りです。この条件にあった電源でお使いください。

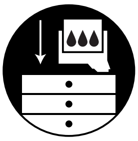
電源電圧：　AC100V
電源周波数：　50/60Hz

清掃のときは



清掃のときは、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源スイッチを押してしまうと、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

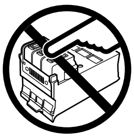
BJカートリッジ、インクタンクについて



安全のため子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。



BJカートリッジやインクタンクを落としたり振ったりしないでください。インクが漏れて衣服などを汚すことがあります。

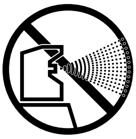


印刷後、BJカートリッジの金属部分には触れないでください。熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

その他



プリンタを分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。



プリンタの近くでは可燃性のスプレー等は使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気部分に触れて、火災や感電の原因になります。



印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。内部で部品が動いているため、けがの原因になることがあります。



プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナー等）の入った容器を置かないでください。プリンタ内部に落ちたりこぼれたりすると、火災や感電の原因になることがあります。



万一、異物（金属片・液体等）がプリンタ内部に入った場合は、プリンタの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くの販売店までご連絡ください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になることがあります。

プリンタを
お使いになる前に

BJ F8500の用途とカラー印刷

BJ F8500は付属の「標準カラーセット」と「フォトカラーセット」を印刷用途ごとに使い分けることで、大量の印刷物の経済的な印刷が求められるオフィスユースから、高精細な写真品質が要求されるグラフィックデザインなどの印刷まで、ユーザの印刷ニーズに合わせた印刷が可能です。また、耐水性の実現により、郵便物の宛名や重要書類の印刷などにも安心してご使用いただけます。

標準カラーセットとフォトカラーセット

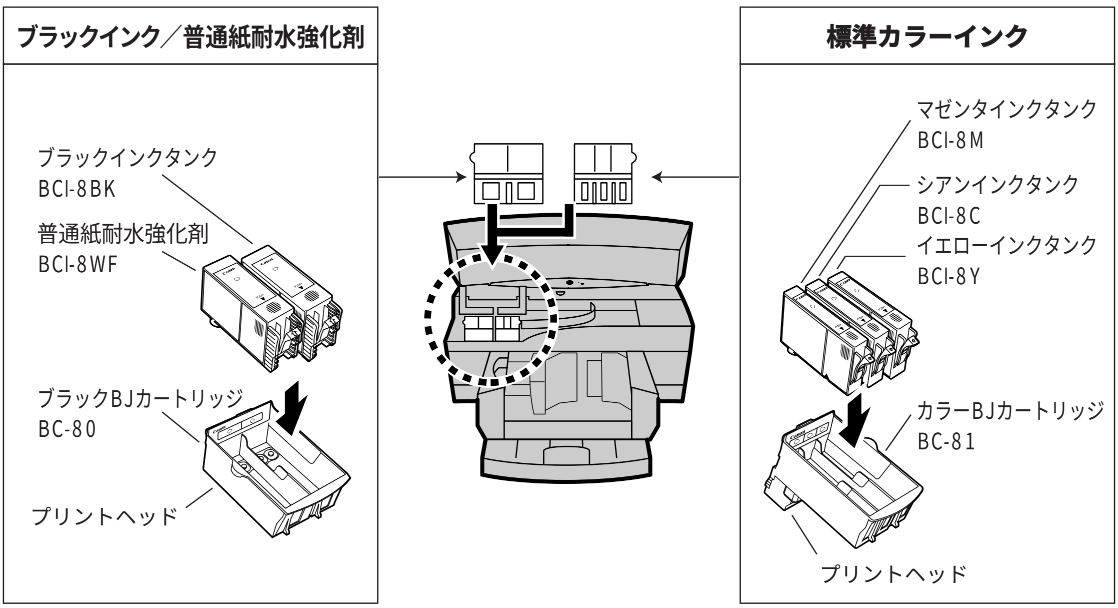
BJ F8500には、ブラックBJカートリッジBC-80、カラーBJカートリッジBC-81、フォトBJカートリッジBC-82の3種類のBJカートリッジが用意されています。カラーセットは、このうち2つのBJカートリッジを組み合わせて構成されます。

カラーBJカートリッジBC-81は、標準カラーセットとフォトカラーセットの両方に共通で右側のカートリッジホルダに取り付けます。
標準カラーセットとして使用したい場合は、左側のカートリッジホルダにブラックBJカートリッジBC-80を取り付けます。
フォトカラーセットとして使用したい場合は、左側のカートリッジホルダにフォトBJカートリッジBC-82を取り付けます。

ブラックBJカートリッジBC-80には、ブラックインク(BCI-8BK)と普通紙耐水強化剤(BCI-8WF)を取り付けます。
カラーBJカートリッジBC-81には、カラーインク(BCI-8M、BCI-8C、BCI-8Y)を取り付けます。
フォトBJカートリッジBC-82には、フォトインク(BCI-8PM、BCI8PBK、BCI-8PC)を取り付けます。

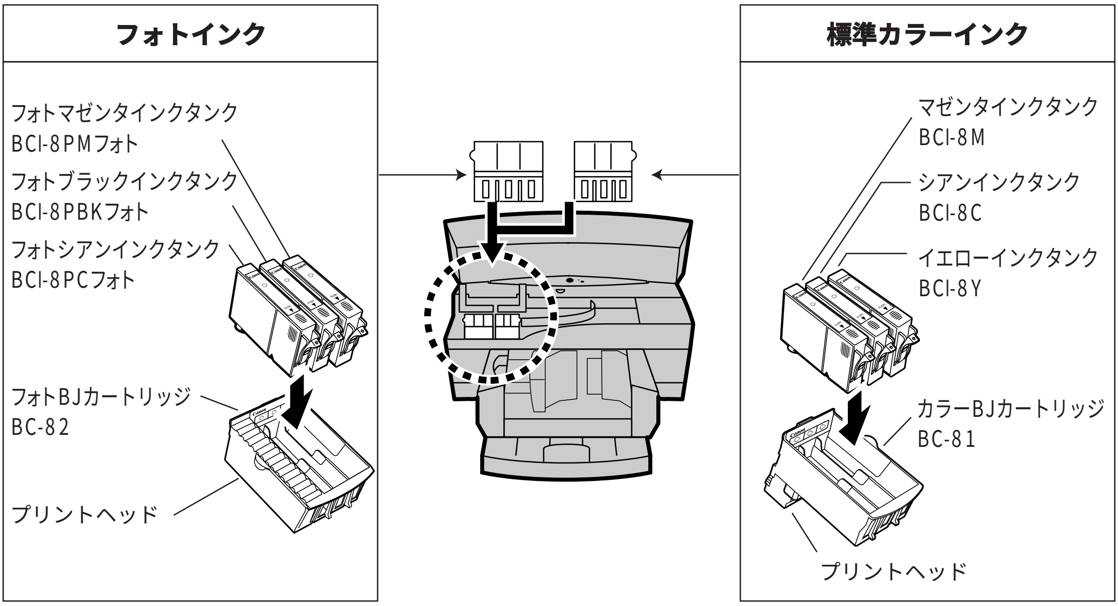
標準カラーセット

標準カラーセットは、普通紙でのすぐれた印刷品質と耐水性を実現し、ビジネスプレゼンテーションなどでの大量カラー印刷に最適です。標準カラーセットの構成は、次のとおりです。



フォトカラーセット

フォトカラーセットは濃淡インクを利用した多階調印刷を可能とし、専用紙と組み合わせることで写真やデザインプレゼンテーションなど高精彩なカラー再現性を求められる印刷に最適です。フォトカラーセットの構成は、次のとおりです。



カラーセットと用紙の組み合わせ

カラーセットは、用紙との組み合わせにより、さらに優れた印刷の仕上がりを得ることができます。カラーセットと各用紙の組み合わせの適性は次のとおりです。

◎： 推奨
○： 可能
×： 不可能（プリンタドライバで選ぶことができません）

	標準カラーセット	フォトカラーセット
普通紙(一般複写機用紙)	◎	×
普通紙(LC-301)	◎	×
高品位専用紙(HR-101S)	○	◎
厚紙	◎	×
フォト光沢紙(GP-301)	○	◎
フォト光沢カード(FM-101)	○	◎
フォト光沢フィルム(HG-201)	○	◎
OHPフィルム(CF-102)	○	○
官製はがき	◎	×
フォト光沢ハガキ(KH-201N)	○	◎
封筒(洋形4号、洋形6号)	◎	×
BJクロス(FS-101)	○	○
Tシャツ転写紙(TR-201)	○	○

※バナー紙(長尺紙)は、プリンタドライバの「用紙の種類」で「普通紙」を選択して印刷するため、カラーセットの適性は、普通紙と同じです。

カラーセットの交換と保管

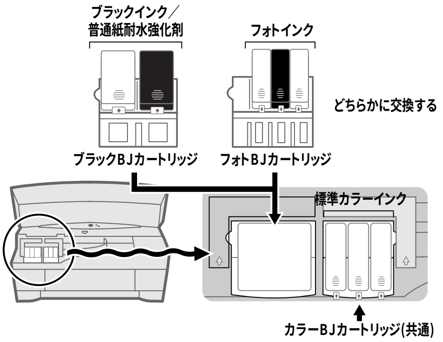
カラーセットの交換

標準カラーセットをフォトカラーセットに交換する場合(またはフォトカラーセットから標準カラーセットに交換する場合)は、使用中のブラックBJカートリッジ(またはフォトBJカートリッジ)を、インクタンクを取り付けたままプリンタから取り出して保管箱に保管します。
交換するBJカートリッジとインクタンクを開封して取り付けます。交換するカラーセットがすでに保管箱に入れてあるときは、保管箱に入っているBJカートリッジをそのまま取り付けます。

メモ ここではプリンタにすでに標準カラーセットかフォトカラーセットが、取り付けられていることを前提に説明されています。プリンタに初めてカラーセットを取り付ける場合はスタートガイドを参照して下さい。

1 **使用したいカラーセットを用意します。**

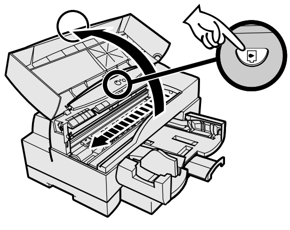
取り付けるBJカートリッジ(BC-80またはBC-82)、インクタンク(ブラックインク／普通紙耐水強化剤またはフォトインク)と保管箱をお手元に用意します。
カラーBJカートリッジは、標準カラーセットとフォトカラーセットで共通です。カラーセットを交換する場合は、ブラックBJカートリッジとフォトBJカートリッジを交換します。



標準カラーセット：　ブラックインク／普通紙耐水強化剤+標準カラーインク
フォトカラーセット：フォトインク+標準カラーインク

2 **電源を入れた状態で、フロントカバー内の交換ボタンを押します。**

プリンタ中央部の取っ手を持って、フロントカバーを開け、交換ボタンを押します。
BJカートリッジホルダが交換ポジションに移動します。



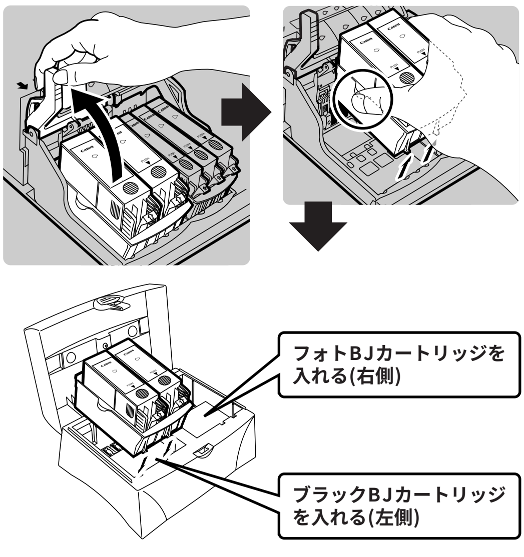
3 **プリンタから交換するBJカートリッジを取り出し、保管箱へ入れます。**

左側のBJカートリッジ固定レバーを上方に起こして、レバーが止まる位置まで押し上げます。
これによりBJカートリッジの固定が解除されます。
左側のBJカートリッジホルダからBJカートリッジを取り出し、保管箱に保管します。

お願い 取り出したBJカートリッジを外気に放置しておくと、インクが乾いてプリントヘッドが使用できなくなります。必ず保管箱に保管してください。

保管箱の使いかたについてはP.15「BJカートリッジの保管」を参照してください。

ブラックBJカートリッジを取り出す例



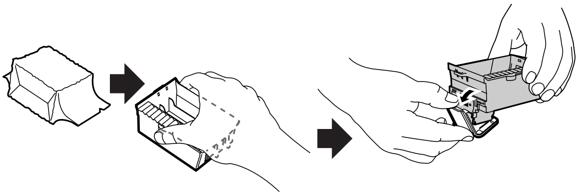
4 他のカラーセットを取り付けます。

プリンタには、3種類のBJカートリッジが付属しています。すでに一方のカラーセットを使用しており、他のカラーセットに交換する場合は、次の手順にしたがってください。

初めてカラーセットを交換する場合

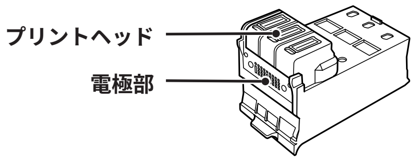
① BJカートリッジの保護キャップを取り除きます。

取り付けるBJカートリッジを開封し、プリントヘッドの保護キャップを取り除きます。



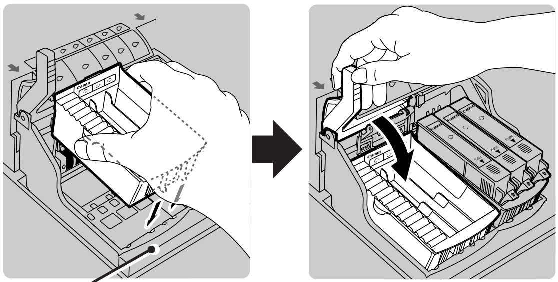
※BJカートリッジは必ず側面を持ってください。
突起のある側は突起に指をかけます。

注意 プリントヘッドや電極部に触れないように注意してください。ノズルの目詰まりや接触不良などで正しく印刷できなくなることがあります。



② BJカートリッジをプリンタに取り付けます。

BJカートリッジ固定レバーを上げた状態で、BJカートリッジ後部のツメをカートリッジホルダの溝にそって挿入し、続いてBJカートリッジ前部をカートリッジホルダに装着します。次に、BJカートリッジ固定レバーを押し下げて、BJカートリッジを固定します。

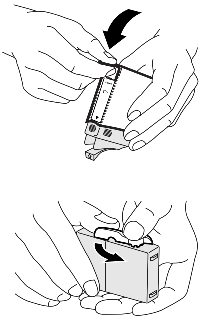


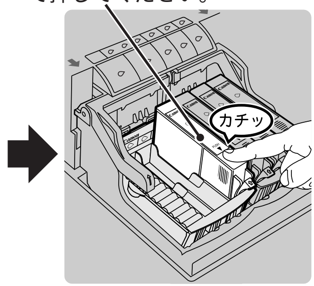
フォトBJカートリッジを取り付けている例

※手前から溝に沿って入れて、
置きます。

③ **BJカートリッジに指定のインクタンクを取り付けます。**

インクタンクを袋から取り出し、オレンジ色のテープを持ってインクタンクを覆っている透明フィルムを取り除きます。次にオレンジ色の保護キャップを押さえながら、ゆっくり回して取り外し、ラベル面を上にして、BJカートリッジの指定された場所に装着します。
インクタンクの装着位置については、P.10「標準カラーセットとフォトカラーセット」を参照ください。





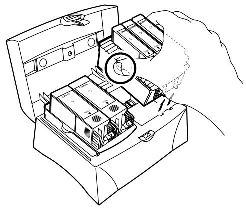
フォトインクタンクを取り付けている例

注意 保護キャップは必ず透明フィルムを取り除いてから取り外してください。先に保護キャップを取り外すとインクタンクが使用できなくなる場合があります。

続いて手順5を行ってください。

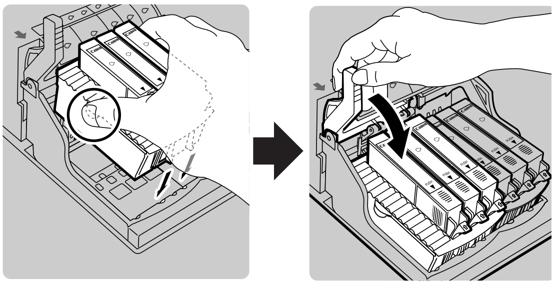
以前にカラーセットを交換し、保管してある場合

① **保管箱にしまってあるBJカートリッジを取り出します。**



② **取り出したBJカートリッジをプリンタに取り付けます。**

BJカートリッジ固定レバーを上げた状態で、BJカートリッジをカートリッジホルダに取り付けます。次にBJカートリッジ固定レバーを押し下げて固定します。

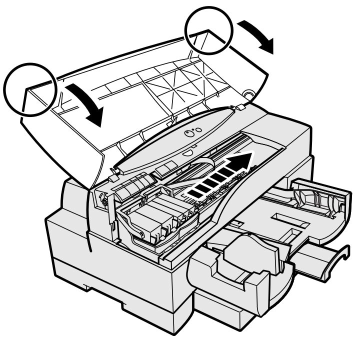


フォトBJカートリッジを取り付けている例

続いて手順5を行ってください。

5 フロントカバーの左右の角を両手で持って、カバーを閉じます。

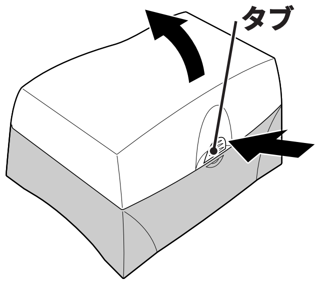
フロントカバーを閉じてください。BJカートリッジホルダが右端に移動して、交換作業が完了します。



BJカートリッジの保管

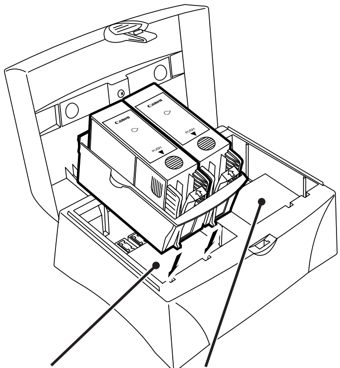
カラーセットを交換したり、BJカートリッジを一時的にプリンタから取り出した場合には、インクの乾燥や汚れを防ぐために、またBJカートリッジのプリントヘッドを傷つけないためにも、必ず保管箱に入れてください。

1 **保管箱のタブを押して、フタを開けます。**

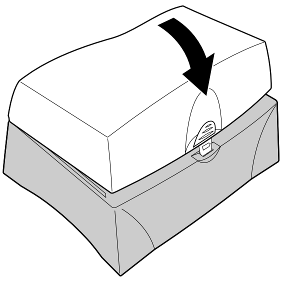


2 **ラベル面を上にして、BJカートリッジを保管箱に入れます。**

注意 BJカートリッジのプリントヘッドや電極部には手を触れないでください。プリントヘッドに他のインクが着くと、正しく印刷できなくなります。各BJカートリッジは、図のように保管箱の指定の場所に入れてください



3 **カチッと音がするまでフタを閉めます。**



プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする

印刷用途に最適なプリンタの設定を選択します。プリンタドライバのオートパレット機能によって、この設定が簡単に行なえます。

オートパレット機能について

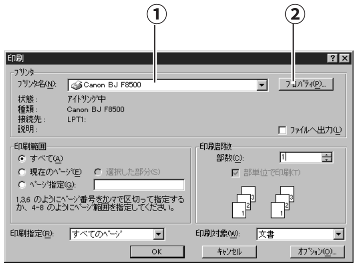
オートパレットでお望みの印刷用途を選択すると、その用途に適した印刷品質、用紙の種類、給紙方法、色の設定などが自動的に選択されます。また、[オートパレット詳細](Windowsの場合)や[詳細設定](Macintoshの場合)を選択すると、これらの設定をカスタマイズすることもできます。

プリンタドライバの使いかた

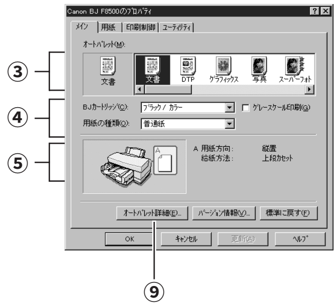
ご使用のコンピュータ(WindowsかMacintosh)に応じて次の操作を行ってください。

Windowsの場合

印刷用途にあった設定をするには



1 ご使用のアプリケーションソフトの[ファイル]メニューから印刷項目を選択し、印刷画面を開きます。
[プリンタ名]①で[Canon BJ F8500]を選択し、[プロパティ(P)...]②をクリックすると、オートパレット機能が使用できる「Canon BJ F8500のプロパティ」のメインシートが表示されます。



2 [オートパレット]③内のアイコンをクリックして印刷用途を選択します。
選択したアイコンに応じて、[BJカートリッジ](カラーセット)と[用紙の種類]が画面④に表示されます。設定内容を変更したい場合は、▼をクリックし、リストの中から選択することができます。⑤には[用紙方向]と[給紙方法]が表示されます。

メモ 用紙の種類によっては、使用できないカラーセット、給紙方法、用紙方向があります。詳しくは本書P.23「用紙にあったプリンタの使いかた」を参照してください。

用紙サイズと印刷方向を変更するには

用紙サイズと印刷方向の変更は用紙シートで行います。



1 「Canon BJ F8500のプロパティ」で[用紙]⑥タブをクリックし用紙シートを表示させます。

2 用紙サイズを変更する場合は、[用紙サイズ]⑦の▼をクリックし、表示されたリストからを選択してください。
印刷方向を変更したい場合は、[印刷方向]⑧の[縦]、[横]の○をクリックしてください。選択された印刷方向の○が◉に変わります。

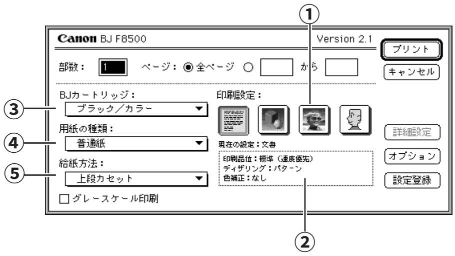
給紙方法や印刷品位を変更するには

オートパレット内のアイコンを選択して［オートパレット詳細(E)...］⑨をクリックすると「[選択したオートパレット名]のプロパティ」画面が開き、印刷用途に合わせて印刷品位や給紙方法([クオリティ]タブを選択)や色設定([色設定]タブを選択)の詳細な設定が行なえます。ここでの設定内容に設定名とアイコンを割り当てて、オートパレットに自分の設定を新しく登録することもできます。

プリンタドライバの詳細については、「Windowsプリンタドライバガイド」をご覧ください。

Macintoshの場合

印刷用途にあった設定をするには

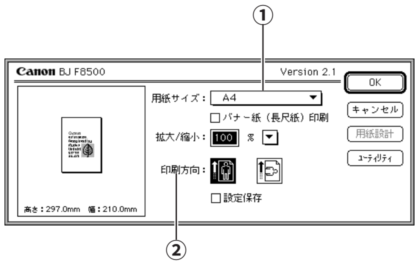


1 ご使用のアプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し､「プリントダイアログ」画面を開きます。

2 [印刷設定]①で印刷用途にあったアイコンをクリックして選択します。
選択したアイコンをクリックすると、[印刷品位]や[色補正]などの設定を自動的に行い、②の表示欄に設定内容を表示します。
また[BJカートリッジ]③、[用紙の種類]④、[給紙方法]⑤の各設定項目をご使用のものに合わせて設定します。設定内容を変更したい場合は、▼をクリックし、各リストの中から選択することができます。

メモ 用紙の種類によっては、使用できないカラーセット、給紙方法、用紙方向があります。詳しくは本書P.23「用紙にあったプリンタの使いかた」を参照してください。

用紙サイズと用紙方向を変更するには



1 ご使用のアプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[用紙設定]を選択し､「用紙設定ダイアログ」画面を開きます。

2 用紙サイズを変更する場合は、[用紙サイズ]①のリストからお望みの用紙サイズを選択します。
用紙方向を変更したい場合は、[印刷方向]②の縦、横をクリックし、白黒を反転させます。

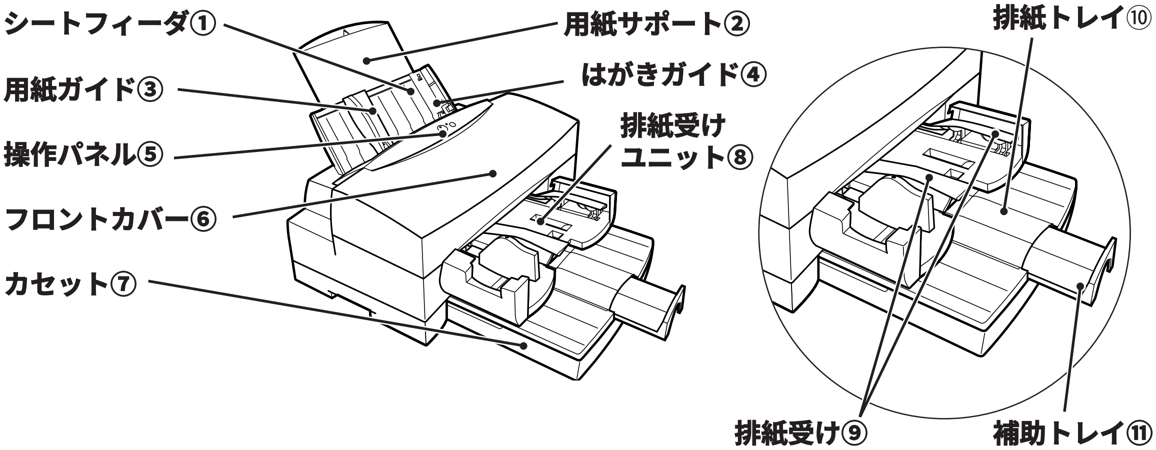
オートパレットの設定内容を変更するには

を選択して[詳細設定]をクリックすると、「詳細設定ダイアログ」画面が表示されます。印刷色や印刷品質などの詳細な設定が行なえます。

プリンタドライバの詳細については、「Macintoshプリンタドライバガイド」をご覧ください。

各部の名称と働き

正面



シートフィーダ①： 普通紙を約100枚までセットでき、１枚ずつ、または連続して印刷することができます。またはがきやバナー紙など特別な用紙を印刷するときにも使用します。

用紙サポート②： 用紙を支えます。引き出して使用します。

用紙ガイド③： 用紙のサイズに合わせて調節します。

はがきガイド④： はがきや封筒に印刷するときに、立てて使用します。

操作パネル⑤： 電源のオン・オフやエラー状態の解除を行うボタンと、プリンタの状態を表すランプがあります。

フロントカバー⑥： BJカートリッジおよびインクタンクの交換や、紙詰まりを取り除くときにここを開けます。

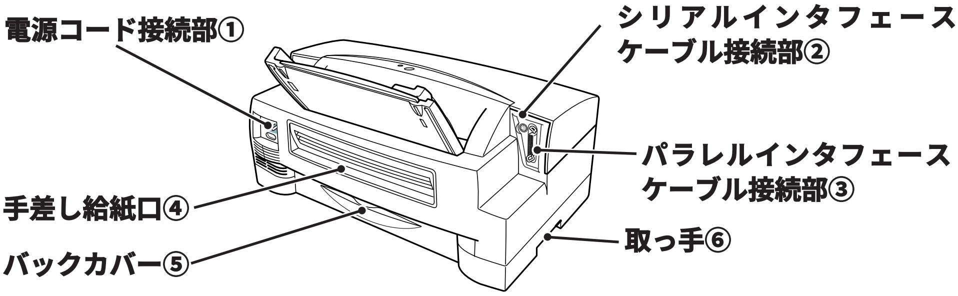
カセット⑦： 普通紙を約250枚、高品位専用紙を約200枚までセットできます。また、オプションのカセット設置台を取り付けることでカセットをもうひとつ使用することができます(下段カセット)。標準のカセット(上段カセット)とシートフィーダとの組み合わせで連続給紙(→P.31、P.35)が可能です。

排紙受けユニット⑧： 印刷した用紙の上に次の用紙が重なり、用紙を汚すことを防ぐために、印刷中の用紙を保持するユニットです。

排紙受け⑨： 印刷中の用紙を受ける部分です。印刷が終わるまで用紙を保持し、排紙トレイの上に排紙します。左側の排紙受けを動かすことにより排紙受けの幅を用紙に合わせて使用します。

排紙トレイ⑩／補助トレイ⑪：
印刷された用紙が排紙されるところです。用紙サイズが大きいときは排紙トレイ／補助トレイを引き出して使用します。

背面



電源コード接続部①：付属の電源コードをここにつなぎます。

シリアルインタフェースケーブル接続部②：

RS422シリアルインタフェースケーブルで、Macintoshと接続します。

パラレルインタフェースケーブル接続部③：

パラレルインタフェースケーブルで、WindowsやDOSのコンピュータと接続します。

手差し給紙口④： 用紙を1枚ごとにセットするところです。普通紙なども１枚ずつ給紙できますが、厚紙やBJクロスはこの給紙口を使用して印刷します。

バックカバー⑤： カセットから給紙して印刷したときに紙詰まりがおきたら、ここを開けて用紙を取り除きます。

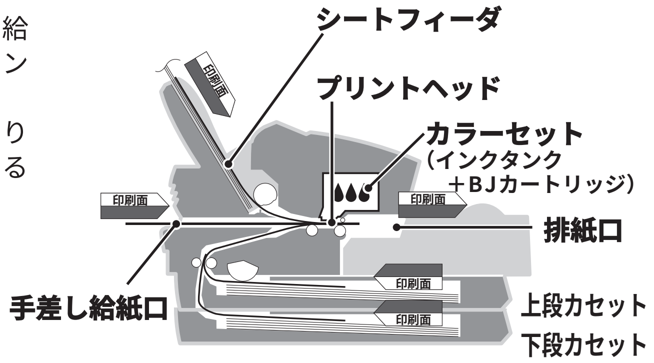
取っ手⑥： プリンタを移動、設置する時は、2人でそれぞれ片手でここを持ち、もう一方の手でプリンタを支え、運んでください。

断面(給紙口・通紙経路・印刷面)

給紙口として「シートフィーダ」、「手差し給紙口」に加え、「上段カセット」、オプションの「下段カセット」があります。
給紙口によってはセットできない用紙がありますのでP.26の「用紙の種類と使用できる給紙方法」を参照してください。

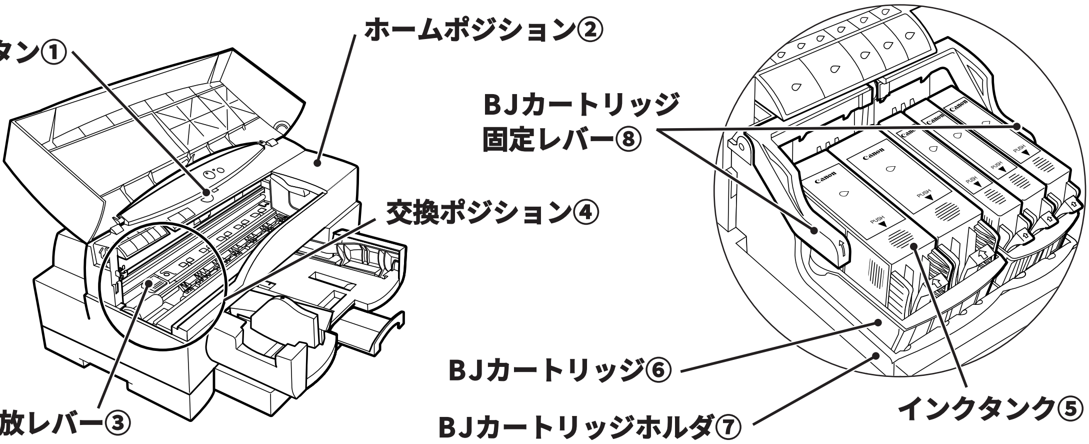
用紙の印刷面、裏面と給紙方向を表わします。





内部

フロントカバーは中央の取っ手に指先をかけ、カバー全体を持ち上げて開けます。



交換ボタン①： インクタンクやBJカートリッジを交換するとき押します。BJカートリッジホルダを交換ポジションに移動させたり、ホームポジションに戻したりできます。

ホームポジション②： プリンタが動作していないとき、BJカートリッジが乾燥するのを防ぐための場所です。

用紙解放レバー③： プリンタの内部で紙詰まりがおきたら、このレバーを押して用紙を引き出します。

交換ポジション④： インクタンクやBJカートリッジを交換をするときは、BJカートリッジホルダをこの位置に移動させます。

インクタンク⑤： ブラック、普通紙耐水強化剤、カラー(３色)、フォト(３色)の８種類のインクがあります。インクが無くなったときは各色ごとに交換できます。

BJカートリッジ⑥： インクタンクを取り付けるカートリッジです。プリントヘッドがついています。ブラック、カラー、フォトの３種類があります。

BJカートリッジホルダ⑦：

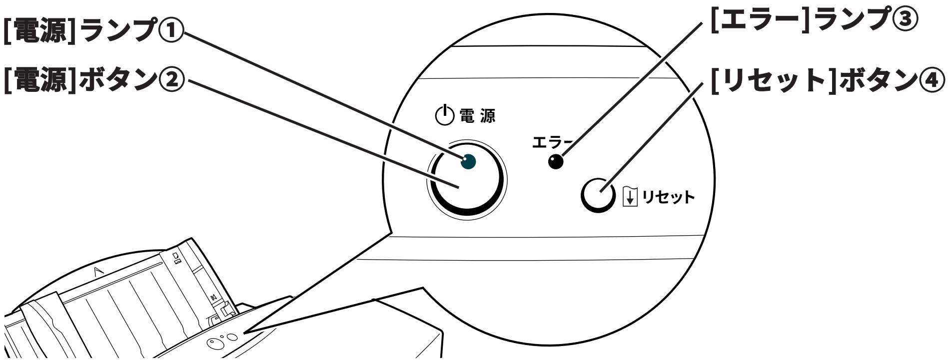
２種類のBJカートリッジを取り付けます。

BJカートリッジ固定レバー⑧：

BJカートリッジをBJカートリッジホルダに固定するためのレバーです。このレバーを上げてBJカートリッジを取り外します。

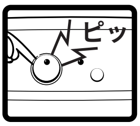
操作パネルの使いかた

操作パネルには電源をオン／オフする電源ボタン②とエラー状態を解除することができるリセットボタン④、動作状態を確認するための電源ランプ①、エラーランプ③がついています。



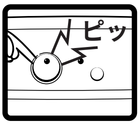
電源の入れかた

電源を入れる



電源ボタンを押すと電源が入り、プリンタはウォーミングアップを始めます。ウォーミングアップ中は電源ランプが緑色に点滅し、自動的にヘッドのクリーニングを始めます。準備ができると緑色の点灯に変わって印刷できる状態になります。

電源を切る



プリンタに電源の入った状態で電源ボタンを押してください。
電源ランプが消灯し、電源が切れます。

プリンタを長期間使用しないとき

お願い

電源ランプが消灯し、電源が切れてから、電源コードをコンセントから抜いてください。
プリンタを使用しない期間が短期間の場合は、インク節約のため電源コードをつないだままにしてください。電源コードを抜くと、次にプリンタを使用するときに、長時間のプリントヘッドのクリーニングが行なわれるため、インクがより多く消費されます。

キャッピング動作

プリントヘッドの位置によっては、電源を切ったときにキャッピング動作(プリントヘッドの乾きを防ぐためにホームポジションに移動すること)が行われます。電源コードを抜いて電源を切ると、このキャッピング動作が行われないため、プリントヘッドが乾燥し、インクが正しく出なくなります。必ず電源ボタンを押して電源を切ってください。

メモ

電源ボタンを使って、ノズルチェックパターンの印刷(テストプリント)ができます。
詳しくはP.65「ノズルチェックパターンを印刷する」を参照してください。

[リセット]ボタンの使いかた

[リセット]ボタンは次のようなときに使用します。

エラーが発生したとき

原因を取り除いて [リセット]ボタンを押すと、プリンタのエラー状態を解除し印刷可能な状態に復帰させます。

正常なとき

[リセット]ボタンをしばらく押し続けるとブザーが１回鳴ります。

その時に[リセット]ボタンを離すと、プリントヘッドのクリーニングを開始します。

[リセット]ボタンを2回目のブザーが鳴るまで押し続け、

その時に[リセット]ボタンを離すと、シートフィーダにセットされた用紙を１枚送ります。

[電源]ランプと[エラー]ランプ

緑色は電源のオン／オフを知らせます(ただし、電源コードを抜かないとプリンタ内部の電源は完全に切れません)。オレンジ色はエラーの状態を表示します。

	ランプ状態	意味
電源ランプ	消灯	電源が切れています。
	緑色点灯	電源が入っています。印刷可能です。
	緑色点滅	次のいずれかの状態です ・電源を入れたときのウォーミングアップ中 ・プリントヘッドのクリーニング中 ・印刷中 ・BJカートリッジ交換中
エラーランプ	オレンジ色点灯	次のいずれかのエラーが発生しています。 ・給紙エラー/紙詰まり(ブザーが2回鳴ります) ・インク無し/インクタンク未装着(ブザーが3回鳴ります) ・プリントヘッドエラー(ブザーが4回鳴ります) ・廃インク警告(ブザーが5回鳴ります)
	オレンジ色点滅	その他の内部エラーが発生しています。 (ブザーが連続で鳴ります)

エラーについての対処方法は、「トラブルクリニック」P.56ページをご覧ください。

用紙にあった
プリンタの使いかた

各種用紙に印刷する

モノクロ文章から高精細カラー写真まで、一言で印刷といってもさまざまな内容があります。その内容に適したカラーセットと用紙を選び、プリンタドライバで用紙設定を行うことで、より効果的な印刷結果を得ることができます。
なお、用紙の種類やサイズによって、給紙方法が限られている場合があります。詳しくはP.26および各用紙の説明を参照し、適切に用紙をセットしてください。

用紙とカラーセット

キヤノンでは使用する用途と印刷する内容に応じて、普通紙からさまざまな専用紙を提供しています。印刷するときは、用途にあわせてカラーセットと用紙を選ぶ必要があります。基本的な目安は、次のとおりです。

ビジネス文書をカラー印刷したい場合



標準カラーセットで普通紙に印刷する

会議資料、報告書等、グラフ、図、イラストの入ったビジネス用書類をカラー印刷したい場合は、標準カラーセットを使用し、主に普通紙に印刷します。

写真・デザインを高品位カラー印刷したい場合



フォトカラーセットで専用紙に印刷する

写真・グラデーションの入ったグラフィックデザインなど、高品位な写真調カラー印刷をしたい場合は、フォトカラーセットを使用し、用途にあった専用紙に印刷します。

用紙と耐水性

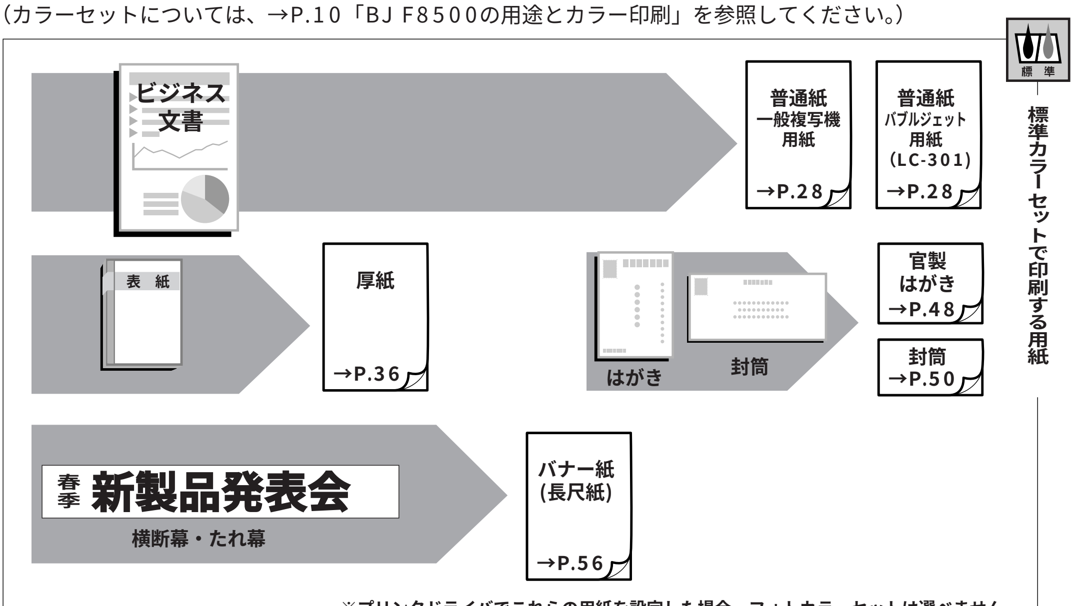
普通紙耐水強化剤は、普通紙の印刷に対して耐水性を得るためのもので、普通紙に対してのみ付与されます。標準カラーセットを装着し、プリンタドライバで標準カラーセットを選んでも、用紙の種類で専用紙を選んだ場合には耐水強化剤は付与されません。ただし専用紙の中には、その用紙の特性から印刷後ある程度時間をおけば、インクが用紙にしっかり定着し、耐水性が得られるものがあります。用紙の種類と印刷後の耐水性は、次のとおりです。

	普通紙耐水強化剤が付与される	印刷してインク定着後の耐水性
普通紙(一般複写機用紙)	○	○
普通紙(LC-301)	○	○
高品位専用紙(HR-101S)	×	○
厚紙	○	○
フォト光沢紙(GP-301)	×	○
フォト光沢カード(FM-101)	×	○
フォト光沢フィルム(HG-201)	×	○
OHPフィルム(CF-102)	×	×
官製はがき	○	○
フォト光沢ハガキ(KH-201N)	×	○
封筒(洋形4号、洋形6号)	○	○
BJクロス(FS-101)	×	○ ※1
Tシャツ転写紙(TR-201)	×	○ ※2
バナー紙(長尺紙)	○	○

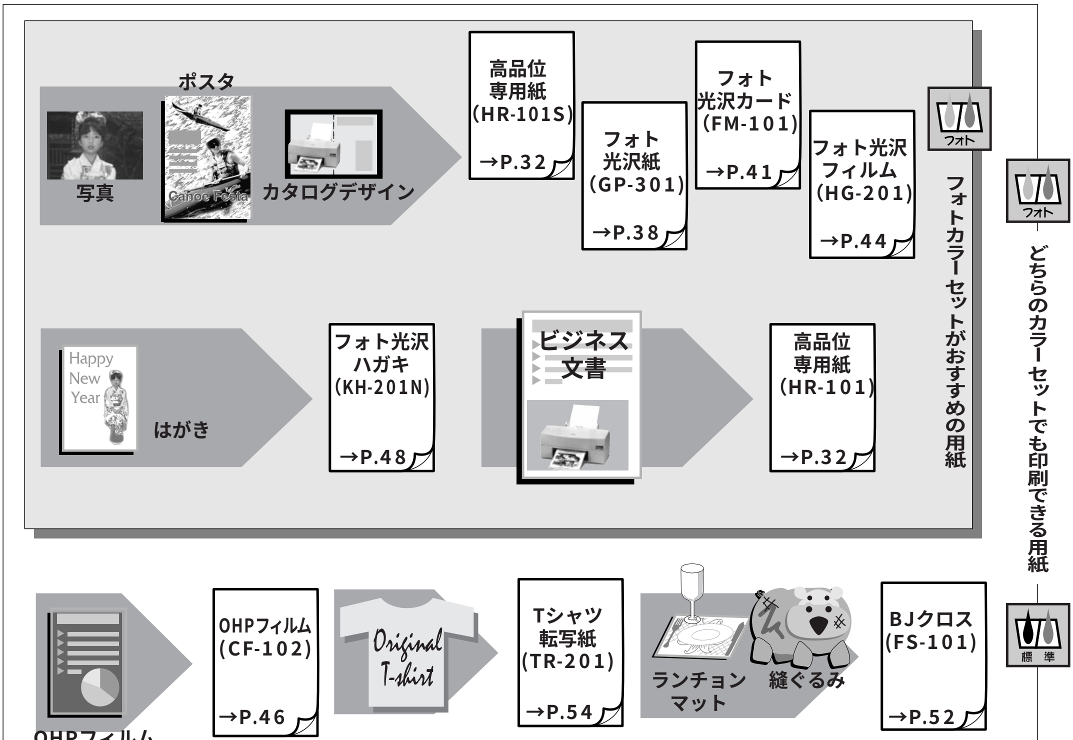
※1　印刷直後は耐水性がないが、洗濯後に耐水となる。
※2　印刷直後は耐水性がないが、熱転写後に耐水となる。

用途にあったカラーセットと用紙の組み合わせ例

それぞれの用途に適した用紙とカラーセットの組み合わせは、次のとおりです。
（カラーセットについては、→P.10「BJ F8500の用途とカラー印刷」を参照してください。）



※プリンタドライバでこれらの用紙を設定した場合、フォトカラーセットは選べません。



※印刷内容によって、カラーセットを使いわけます。

用紙の種類と使用できる給紙方法

ＢＪ Ｆ８５００の各給紙方法で使用できる用紙の種類と最大積載枚数は次のとおりです。

用紙の種類	シートフィーダ	手差し	上段カセット	下段カセット
普通紙(一般複写機用紙、LC-301)	約100枚	1枚	**約250枚**	約250枚
高品位専用紙(HR-101S)	約80枚	1枚	**約200枚**	約200枚
厚紙	ー	**1枚**	ー	ー
フォト光沢紙(GP-301)	**20枚**	1枚	ー	ー
フォト光沢カード(FM-101)	**20枚**	ー	ー	ー
フォト光沢フィルム(HG-201)	**1枚**	1枚	ー	ー
OHPフィルム(CF-102)	**50枚**	1枚	ー	ー
官製はがき	**50枚**	ー	ー	ー
フォト光沢ハガキ(KH-201N)	**20枚**	ー	ー	ー
封筒(洋形4号、洋形6号)	**15枚**	ー	ー	ー
BJクロス(FS-101)	ー	**1枚**	ー	ー
Tシャツ転写紙(TR-201)	**1枚**	1枚	ー	ー
バナー紙(長尺紙)	**1枚**	ー	ー	ー

メモ
太字はその用紙の推奨給紙方法です。“ ー ” は給紙方法が使用できないことを表わします。
各給紙方法は、用紙の種類の他にサイズによる制限があります。次の表を参考にしてください。

使用できる用紙サイズと給紙方法

使用できる用紙のサイズと給紙方法は次のとおりです。

用紙の種類	サイズ(mm)	シートフィーダ	手差し	上段カセット	下段カセット
A3ノビ縦	329×483	○	○	○	○
A3縦	297×420	○	○	○	○
A4⁺縦	223.5×355.6	○	○	×	×
A4縦・横	210×297	○	○	○	○
A5縦	148×210	○	○	×	×
A5横		○	×	×	×
B4縦	257×364	○	○	○	○
B5縦	182×257	○	○	○	○
B5横		○	×	×	×
Legal縦	215.9×355.6	○	○	○	○
Letter⁺縦	228.6×337.82	○	○	×	×
Letter縦・横	215.9×279.4	○	○	○	○
はがき縦・横	100×148	○	×	×	×
フォト光沢ハガキ縦	100×148	○	×	×	×
洋形4号	235×105	○	×	×	×
洋形6号	190×98	○	×	×	×
バナー紙	210×(297×n)	○	×	×	×

n：ページ数(最大20)、○：使用可能、×：使用不可

用紙説明の見方

この章の各ページは次のような構成になっています。

印刷可能なカラーセット

その用紙で使えるインクの構成です。特に、推奨するカラーセットは太枠で囲ってあります。

標準　標準カラーセットを表わし、標準カラーインクとブラックインク／普通紙耐水強化剤の組み合わせになります。

フォト　フォトカラーセットを表わし、標準カラーインクとフォトインクの組み合わせになります。

(→P.10参照)

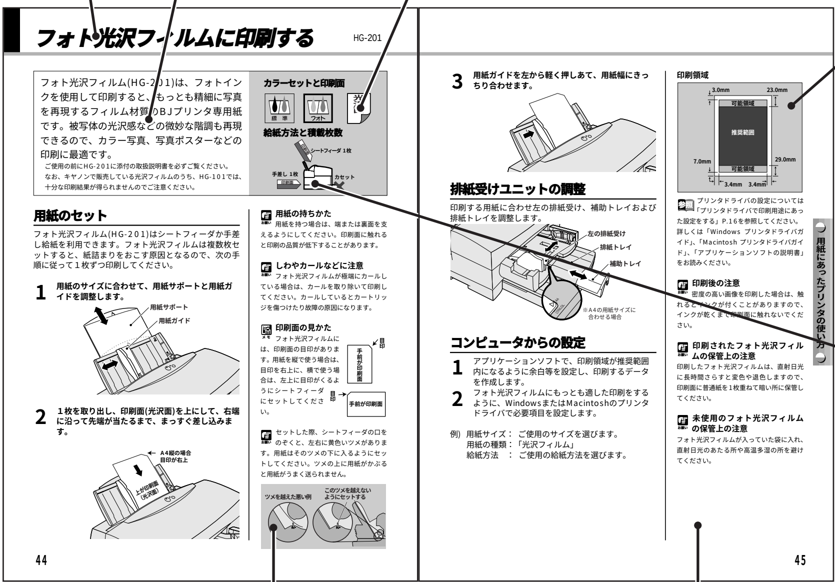
印刷面

その用紙の印刷面です。

- 両面　表、裏とも印刷できます。
- 種類による　用紙によって表裏があり印刷に適した面が違います。
- 白い面　より白い面が印刷面です。
- 光沢面　光沢のある面が印刷面です。
- 布面　布面が印刷面です。
- 緑線無い面　緑色の線が無い面が印刷面です。

印刷する用紙の種類

その用紙の特徴



その用紙の印刷領域

可能領域にも印刷できますが、印刷の品位または用紙送りの精度が低下する場合があります。また、用紙の後端に汚れが発生することがあります。そのため、推奨範囲に印刷することをおすすめします。

給紙方法と積載枚数

印刷可能な給紙方法とその積載制限枚数、印刷面を表わします。その用紙をセットできない給紙方法は、×で表わしています。

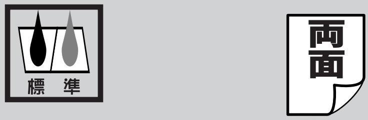
- お願い　**操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項**
- メモ　**操作の参考になることや補足説明**
- 参照　**参照していただきたいページ他のマニュアル**

普通紙に印刷する

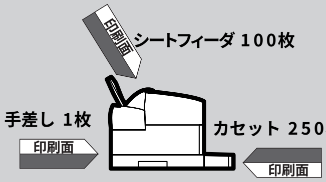
BJ F8500では、一般の複写機用紙とカラーBJ専用のバブルジェット用紙(LC-301)が使用できます。特別な会議資料などのカラービジネス文書にはLC-301がお勧めです。
普通紙耐水強化剤で、普通紙でもカラー耐水を実現、また文字や画像の印刷品位も一段と向上し、大切な書類の印刷に最適です。

ご使用の前にLC-301に添付の取扱説明書を必ずお読みください。

カラーセットと印刷面



給紙方法と積載枚数

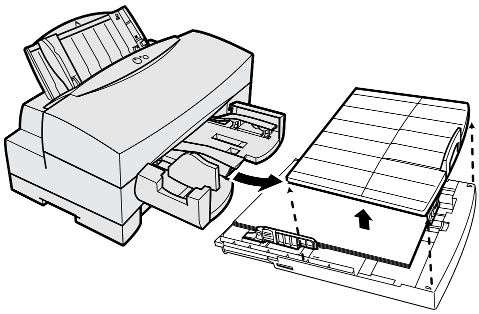


用紙のセット

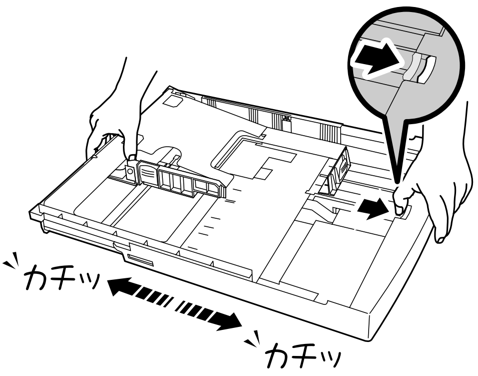
普通紙は全ての給紙方法を利用できます。紙詰まりを起こさないためにも、次の手順に従って用紙をセットしてください。

カセットに用紙をセットする

1 **カセットを持ち上げるように引き出し、排紙トレイを外します。**



2 **用紙サイズに合わせ、カセットの長さを調節します。カチッと音がするところまで、長短2段階に伸縮し、調節できます。**



お願い **次のような用紙は使用しないでください**

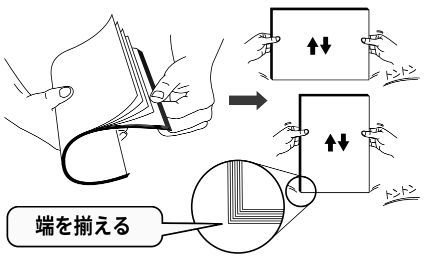
きれいに印刷できないだけでなく、紙詰まりや故障の原因になります。

- 折れたり、しわがよったりカールしている用紙
- 連続紙(ミシン目でつながっている連続紙)

お願い **用紙が残っている場合**

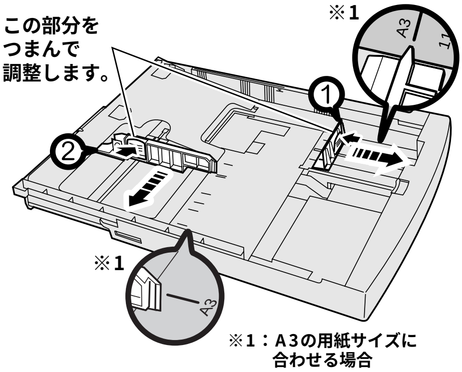
カセットに用紙が残っている場合は、なるべくすべての用紙が無くなってからセットしてください。

お願い **用紙をセットする前に、用紙をよくさばいて四隅をそろえてください。**

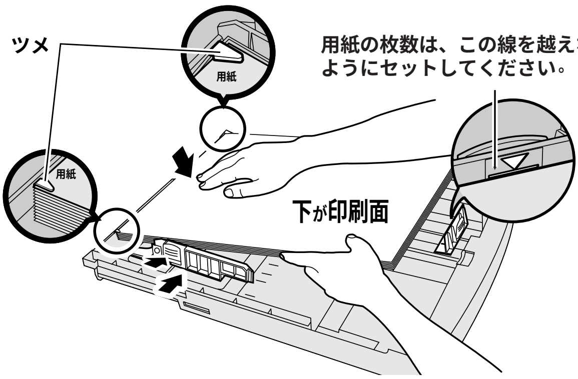


メモ A4縦までの長さは、カセットを短くして、それ以上の用紙をセットするときは、長く伸ばしてお使いください。

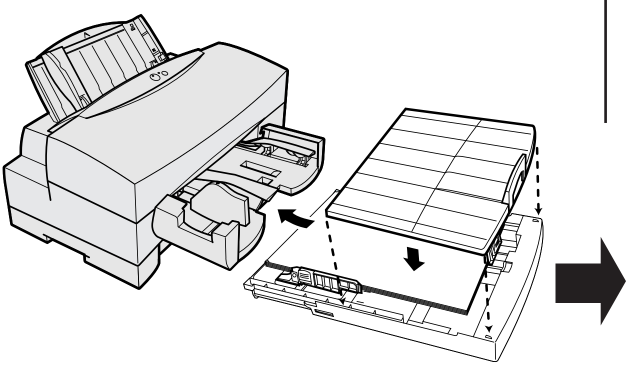
3 用紙サイズに合わせ、カセットの用紙ガイドを調整します。



4 用紙の印刷面を下にし、カセットの金属板の上に用紙をのせます。用紙の先端をしっかりとカセットのツメの下に入れて、セットし、「用紙ガイド(幅)」を用紙に軽く押し当てます。



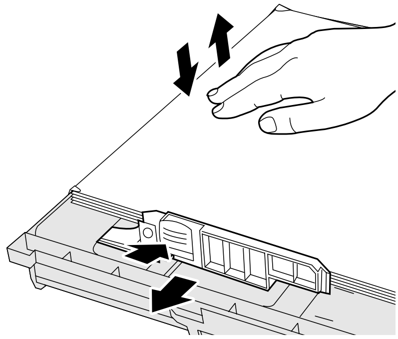
5 排紙トレイをのせ、カセットを元に戻します。



お願い 「用紙ガイド(長さ)」①はセットする用紙サイズの目盛り位置に、「用紙ガイド(幅)」②はセットする用紙より少し大きめの位置に合わせてください。

メモ 印刷面は下側ですが、普通紙の場合、紙の表裏どちらでも印刷できます。

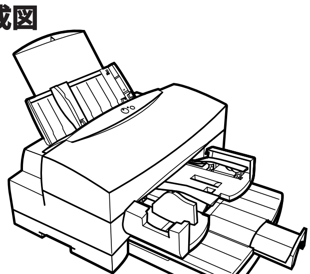
メモ セットした用紙を上から押して戻したとき、用紙もスムーズに動くことを確認してください。スムーズに動かないときは用紙ガイドを少しゆるめてください。



メモ 用紙が多くて一度でセットがうまくいかないときは、二度に分けて行ってください。

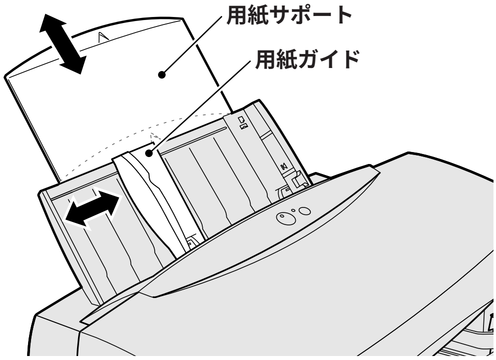
お願い セットする用紙の枚数は積載マーク(▼)を越えないでください。

完成図

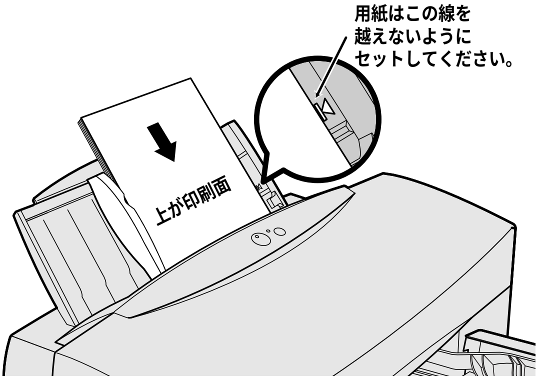


シートフィーダに用紙をセットする

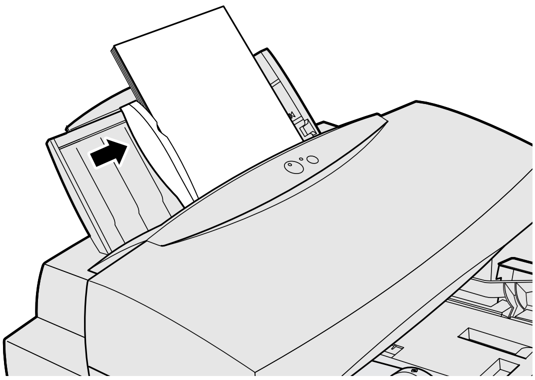
1 **用紙のサイズに合わせて、用紙サポートと用紙ガイドを調整します。**



2 **印刷面を上にして、右端に沿って先端が当たるまで、まっすぐ差し込みます。**



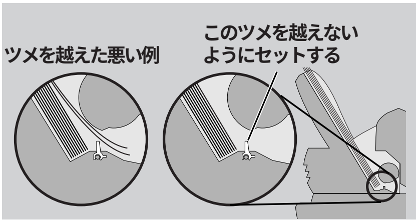
3 **用紙ガイドを左から軽く押しあて、用紙幅にきっちり合わせます。**



メモ 印刷面は上ですが、普通紙の場合、紙の表裏どちらでも印刷できます。

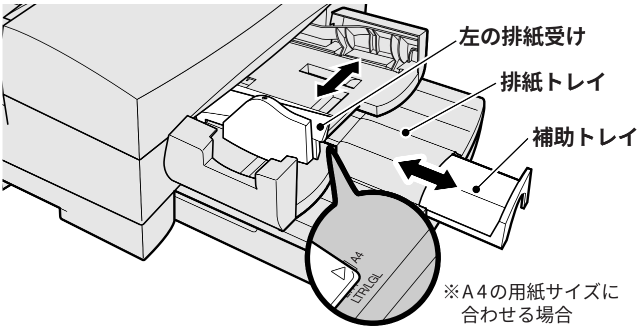
お願い セットする用紙の枚数は積載マーク(▼)の下の線を越えないでください。

お願い セットした際、シートフィーダの口をのぞくと、左右に黄色いツメがあります。用紙はそのツメの下に入るようにセットしてください。ツメの上に用紙がかぶると用紙がうまく送られません。



排紙受けユニットの調整

印刷する用紙に合わせ左の排紙受け、補助トレイおよび排紙トレイを調整します。



※A4の用紙サイズに
合わせる場合

コンピュータからの設定

1 アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。

2 普通紙にもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

例) 用紙サイズ： ご使用のサイズを選びます。
用紙の種類：「普通紙」
給紙方法　： ご使用の給紙方法を選びます。

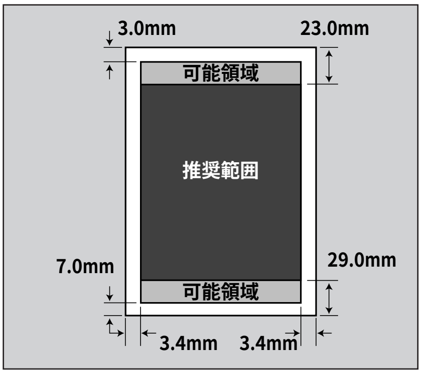
印刷中の注意

印刷されて積載された用紙が排紙トレイに15mm（約50枚）以上にならないように、用紙を取り除いてください。

自動連続給紙

大量の紙に印刷するときは、「シートフィーダ」、「上段カセット」、「下段カセット」(オプション)に同じ紙(サイズ・種類)を入れ、プリンタドライバで自動連続給紙を選ぶことにより、最大600枚の連続印刷ができます。
連続給紙は「シートフィーダ」、「上段カセット」、「下段カセット」の順番で、各給紙口の紙が無くなると次の給紙口に移ります。連続給紙の途中で終了したとき、次の給紙は終了した給紙口から始まります。

印刷領域



上記印刷領域と異なる用紙

メモ

印刷可能領域

	左	右	上	下
Legal縦	6.4	6.4	3.0	7.0
Letter縦	6.4	6.4	3.0	7.0

単位:mm

参照 プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。
詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

普通紙耐水強化剤について

メモ プリンタドライバの「用紙の種類」が「普通紙」のときは普通紙耐水強化剤が有効になります。ただし「印刷品位」が「高速」の場合は「普通紙」を選んでも有効とはなりません。

印刷されたバブルジェット用紙の保管上の注意

お願い 印刷したバブルジェット用紙は、直射日光に長時間さらすと変色や退色しますので、印刷面に普通紙を1枚重ねて暗い所に保管してください。

未使用のバブルジェット用紙の保管上の注意

お願い バブルジェット用紙は、所定のパッケージに入れ、直射日光のあたる所や高温多湿の所を避けてください。

メモ 連続給紙で印刷中に、給紙中の給紙口以外の給紙口に、用紙を追加することにより、600枚(シートフィーダ：約100枚、上段カセット：約250枚、下段カセット：約250枚)以上の連続印刷をすることが可能です。ただし連続給紙印刷中は、排紙トレイに15mm（約50枚）以上用紙がたまらないように取り除いてください。

高品位専用紙に印刷する

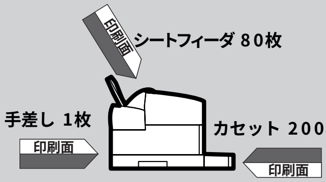
高品位専用紙(HR-101S)は、きめ細かく色鮮やかなカラー印刷ができる、BJプリンタ専用のコート紙です。カラーグラフや写真を多用した資料、各種案内状などの印刷に適しています。フォトインクと組合わせれば、さらに美しい写真プリントができます。

ご使用の前にHRー101Sのパッケージに書かれている注意書きを必ずご覧ください。

カラーセットと印刷面



給紙方法と積載枚数

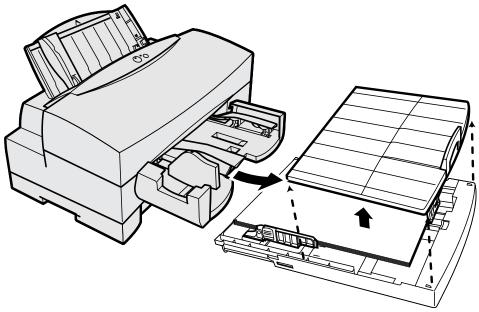


用紙のセット

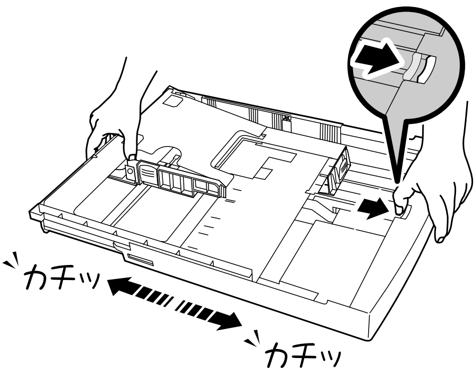
高品位専用紙(HR-101S)は全ての給紙方法を利用できます。紙詰まりを起こさないためにも、次の手順に従って用紙をセットしてください。

カセットに用紙をセットする

1 **カセットを持ち上げるように引き出し、排紙トレイを外します。**



2 **用紙サイズに合わせ、カセットの長さを調節します。カチッと音がするところまで、長短2段階に伸縮し、調節できます。**



用紙の持ちかた

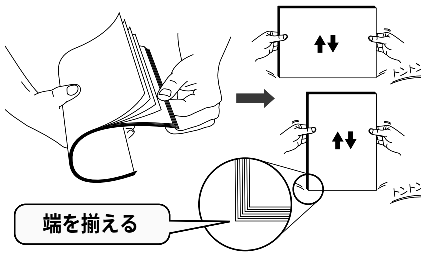
用紙を手に持つ場合は、端または裏面を支えるようにしてください。印刷面に触れると印刷の品質が低下することがあります。

次のような用紙は使用しないでください

きれいに印刷できないだけでなく、紙詰まりや故障の原因になります。

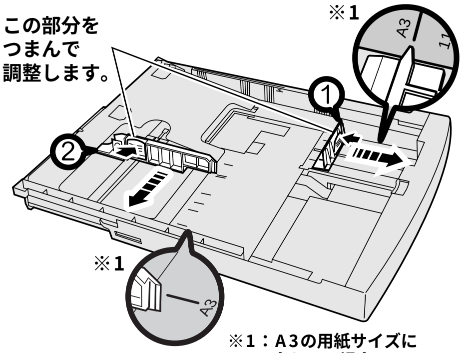
・折れた用紙
・しわがよった用紙
・カールしている用紙

用紙をセットする前に、用紙をよくさばいて四隅をそろえてください。

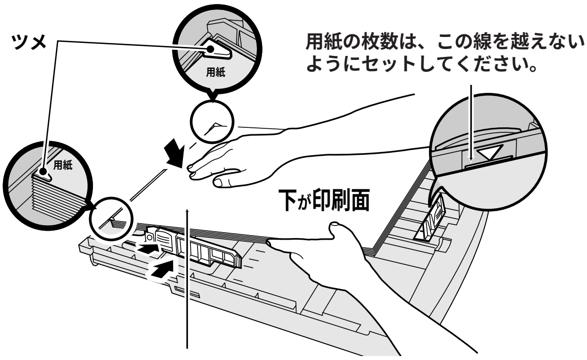


A4縦までの長さは、カセットを短くして、それ以上の用紙をセットするときは、長く伸ばしてお使いください。

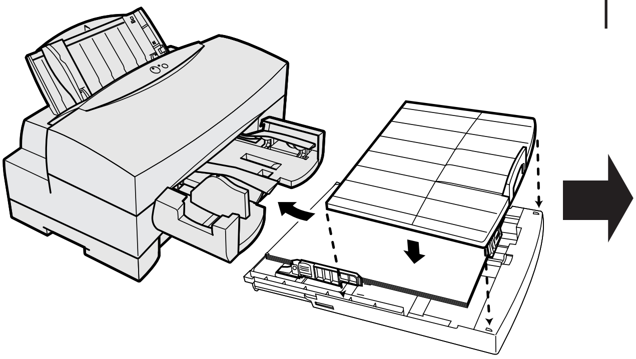
3 用紙サイズに合わせ、カセットの用紙ガイドを調整します。



4 用紙の印刷面(より白い面)を下にし、カセットの金属板の上に用紙をのせます。用紙の先端をしっかりとカセットのツメの下に入れて、セットし、「用紙ガイド(幅)」を用紙に軽く押し当てます。

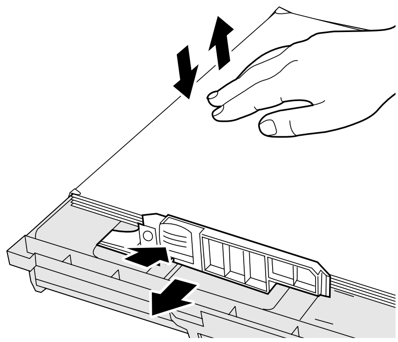


5 排紙トレイをのせ、カセットを元に戻します。



お願い　「用紙ガイド(長さ)」①はセットする用紙サイズの目盛り位置に、「用紙ガイド(幅)」②はセットする用紙より少し大きめの位置に合わせてください。

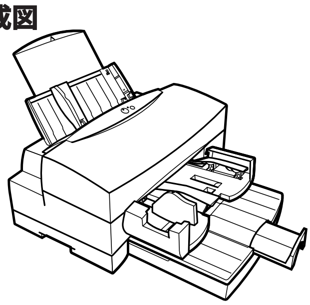
メモ　セットした用紙を上から押して戻したとき、用紙もスムーズに動くことを確認してください。スムーズに動かないときは用紙ガイドを少しゆるめてください。



メモ　用紙が多くて一度でセットがうまくいかないときは、二度に分けて行ってください。

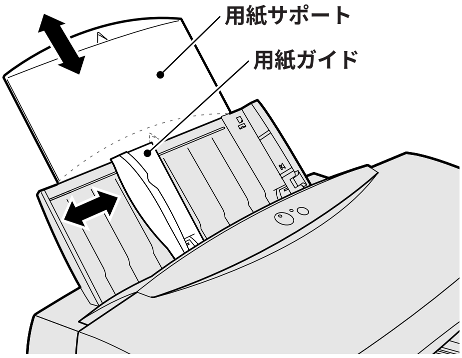
お願い　セットする用紙の枚数は積載マーク(▼)を越えないでください。

完成図

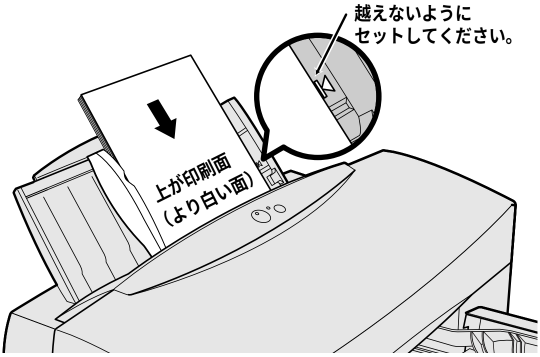


シートフィーダに用紙をセットする

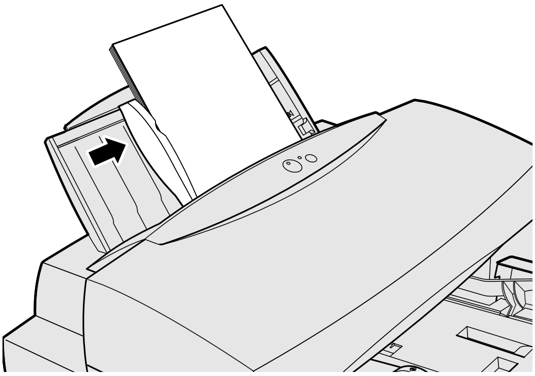
1 **用紙のサイズに合わせて、用紙サポートと用紙ガイドを調整します。**



2 **印刷面(より白い面)を上にして、右端に沿って先端が当たるまで、まっすぐ差し込みます。**

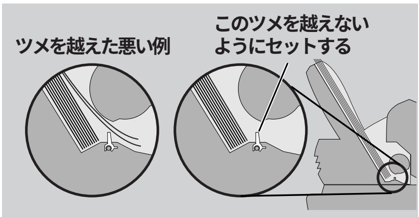


3 **用紙ガイドを左から軽く押しあて、用紙幅にきっちり合わせます。**



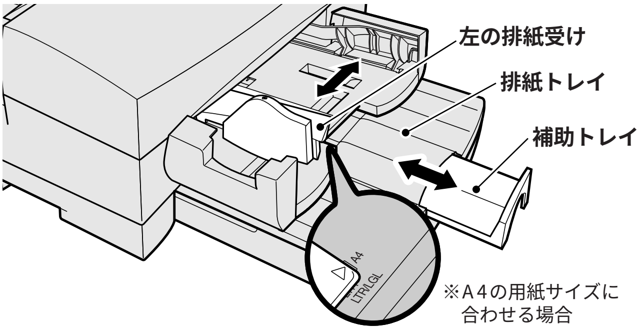
メモ セットする用紙の枚数は積載マーク(▼)の下の線を越えないでください。

メモ セットした際、シートフィーダの口をのぞくと、左右に黄色いツメがあります。用紙はそのツメの下に入るようにセットしてください。ツメの上に用紙がかぶると用紙がうまく送られません。

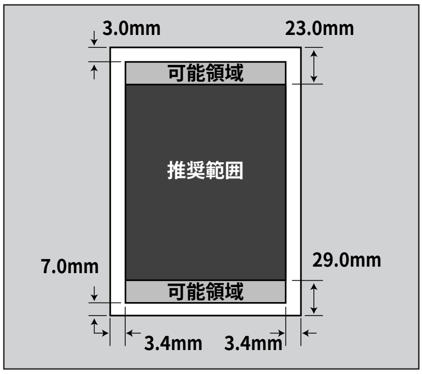


排紙受けユニットの調整

印刷する用紙に合わせ左の排紙受け、補助トレイおよび排紙トレイを調整します。



印刷領域



コンピュータからの設定

1 アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。

2 高品位専用紙にもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

例) 用紙サイズ：ご使用のサイズを選びます。
用紙の種類：「高品位専用紙」
給紙方法　：ご使用の給紙方法を選びます。

印刷中の注意

印刷されて積載された用紙が排紙トレイに15mm（約40枚）以上にならないように、用紙を取り除いてください。

自動連続給紙

大量の紙に印刷するときは、「シートフィーダ」、「上段カセット」、「下段カセット」(オプション)に同じ紙(サイズ・種類)を入れ、プリンタドライバで自動連続給紙を選ぶことにより、最大480枚の連続印刷ができます。
連続給紙は「シートフィーダ」、「上段カセット」、「下段カセット」の順番で、各給紙口の紙が無くなると次の給紙口に移ります。連続給紙の途中で終了したとき、次の給紙は終了した給紙口から始まります。

参照 プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。
詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

印刷された高品位専用紙の保管上の注意

印刷した高品位専用紙は、直射日光に長時間さらすと変色や退色しますので、印刷面に普通紙を1枚重ねて暗い所に保管してください。

未使用の高品位専用紙の保管上の注意

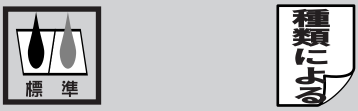
高品位専用紙が入っていた袋に入れ、直射日光のあたる所や高温多湿な所を避けてください

メモ 連続給紙で印刷中に、給紙中の給紙口以外の給紙口に、用紙を追加することにより、480枚(シートフィーダ：約80枚、上段カセット：約200枚、下段カセット：約200枚)以上の連続印刷をすることが可能です。
また、連続給紙印刷中も排紙トレイに15mm（約40枚）以上用紙がたまらないように取り除いてください。

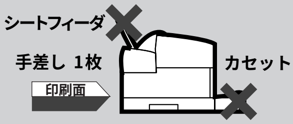
厚紙に印刷する

厚手の紙でも、プリンタ背面にある手差し給紙口を使って１枚ずつ印刷することができます。最高で0.25mmの厚紙まで印刷が可能です。表紙やカード、ネームプレートなど、厚手の紙を利用すると、ちょっと豪華な仕上がりが期待できます。

カラーセットと印刷面



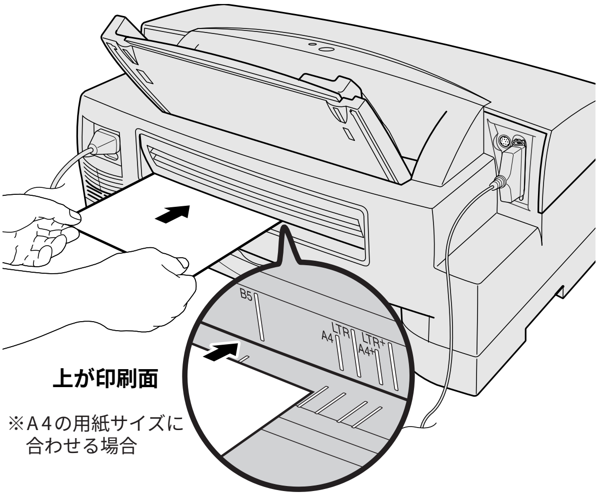
給紙方法と積載枚数



用紙のセット

厚紙は手差し給紙を利用します。紙詰まりをおこさないためにも、手差し給紙口から１枚ずつ、次の手順に従って用紙をセットしてください。

1 **印刷面を上にして、用紙1枚を手差し給紙口の左端に沿わせ、突き当たるまで、まっすぐ差し込みます。**



2 **そのまま２秒ほど持っていると自動的に少し送られて印刷開始位置にセットされます。**

お願い　次のような用紙は使用しないでください

きれいに印刷できないだけでなく、紙詰まりや故障の原因になります。

・折れたり、しわがよったりカールしている用紙

・連続紙(ミシン目でつながっている用紙)

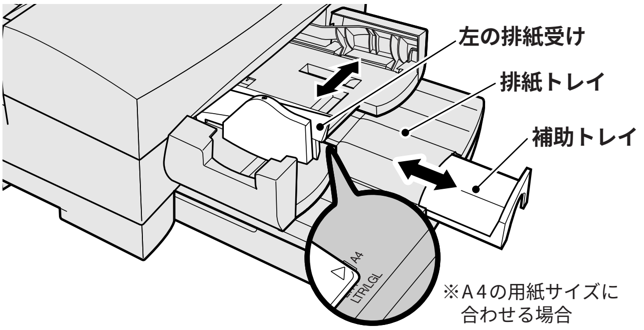
メモ　用紙をセットしたら

フロントカバーを開けると、セットした厚紙の先が1mmぐらい見えます。

用紙がまっすぐセットされていない場合は、用紙解放レバーを押しながら後ろから引き抜き、もう一度セットしてください。

排紙受けユニットの調整

印刷する用紙に合わせ左の排紙受け、補助トレイおよび排紙トレイを調整します。



※A4の用紙サイズに
合わせる場合

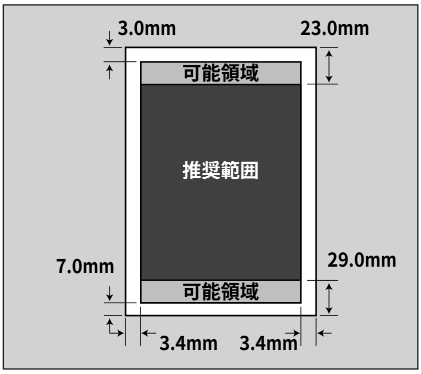
コンピュータからの設定

1 アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。

2 厚紙にもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

例) 用紙サイズ： ご使用のサイズを選びます。
用紙の種類：「厚紙」を選びます。
給紙方法： 「手差し」

印刷領域



上記印刷領域と異なる用紙

印刷可能領域

	左	右	上	下
Legal縦	6.4	6.4	3.0	7.0
Letter縦	6.4	6.4	3.0	7.0

単位:mm

参照 プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。
詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

普通紙耐水強化剤について

プリンタドライバの「用紙の種類」が「厚紙」のときは普通紙耐水強化剤が有効になります。ただし「印刷品位」が「高速」の場合は「厚紙」を選んでも有効とはなりません。

フォト光沢紙に印刷する

GP-301

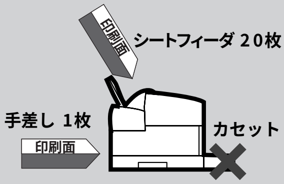
フォト光沢紙GP-301は、フォトインクを使用して写真を印刷するのに最適な、BJプリンタ専用紙です。通常のコート紙にくらべ、少し厚手で光沢感があり印画紙のような仕上がりを得ることができます。

ご使用の前にGP-301に添付の注意書を必ずご覧ください。
なおキヤノンで販売している光沢紙のうちGP-101、GP-201では、十分な印刷結果が得られませんのでご注意ください。

カラーセットと印刷面



給紙方法と積載枚数



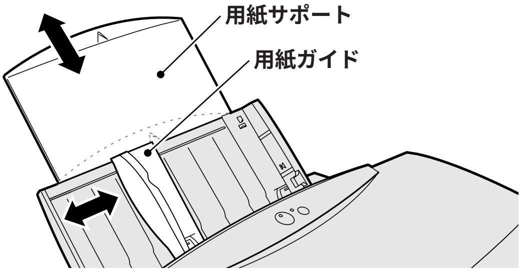
カラーセット

フォト光沢紙 GP-301は、フォトカラーセットを使用すると、粒状感の少ない高精彩な自然画を印刷することができます。
カラーセットの詳細は、「BJ F8500の用途とカラー印刷」P.10、フォトカラーセットと標準カラーセットの交換は「カラーセットの交換と保管」P.12を参照してください。

用紙のセット

フォト光沢紙 GP-301は、手差し給紙も利用できますが、シートフィーダがお勧めです。
シートフィーダからの印刷は、次の手順に従って印刷してください。

1 **用紙のサイズに合わせて、用紙サポートと用紙ガイドを調整します。用紙ガイドは用紙サイズより広めの位置に合わせます。**



給紙補助シートについて

メモ　フォト光沢紙には、給紙補助シートが入っていますが、BJ F8500では使用しません。

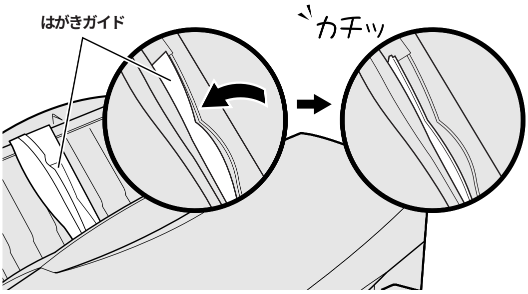
用紙の持ちかた

お願い　用紙を持つ場合は、端または裏面を支えるようにしてください。印刷面に触れると印刷の品質が低下することがあります。

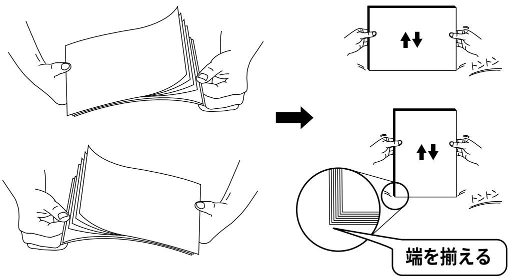
20枚までセットできます

メモ　フォト光沢紙をシートフィーダにセットするときは、20枚までセットできます。

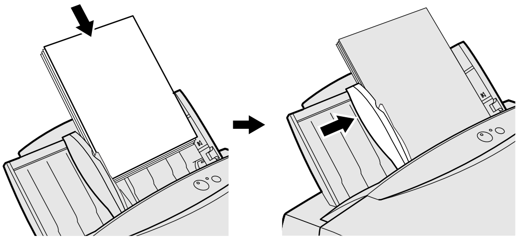
2 向かって左側のはがきガイドを立てます。右側のはがきガイドは立てないでください。



3 用紙をセットする前に用紙の両側をよくさばいて四隅を揃えます。

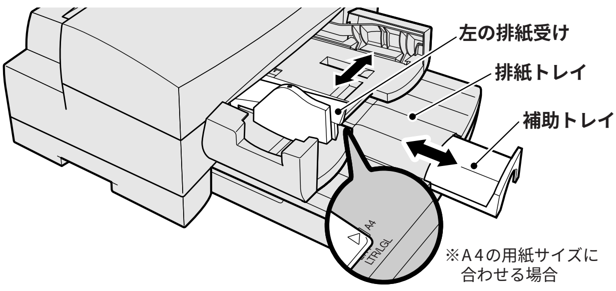


4 印刷面(光沢面)を上にして、右端に沿って先端が当たるまで、まっすぐ差し込みます。用紙ガイドを左から軽く押しあて、用紙幅にきっちり合わせます。



排紙受けユニットの調整

印刷する用紙に合わせ左の排紙受け、補助トレイおよび排紙トレイを調整します。



給紙不良がおきたら

メモ　印刷中に給紙不良がおきたら、トラブルクリニックP.8「シートフィーダから用紙がうまく送られない」をお読みください。

コンピュータからの設定

1 アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。

2 フォト光沢紙にもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

例) 用紙サイズ： ご使用のサイズを選びます。
　　用紙の種類：「光沢紙」
　　給紙方法　： ご使用の給紙方法を選びます。

プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。
詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

耐水性について

プリンタドライバで「光沢紙」を選んだ場合、普通紙耐水強化剤は付与されません。しかしフォト光沢紙の場合、用紙の特性から印刷後ある程度時間をおけば、インクが用紙にしっかり定着し、耐水性を得ることができます。

印刷後の注意

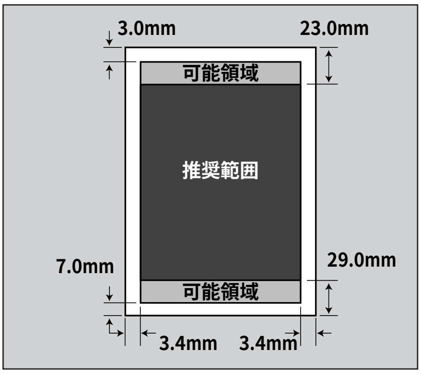
密度の高い画像を印刷したときは

触れるとインクが付くことがありますので、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。

未使用のフォト光沢紙を保管するときは

フォト光沢紙が入っていた袋に入れ、直射日光のあたる所や高温多湿な所を避けてください。

印刷領域



上記印刷領域と異なる用紙

印刷可能領域

	左	右	上	下
Letter縦	6.4	6.4	3.0	7.0
A4+縦	5.1	5.1	27.9	27.9
Letter+縦	5.1	5.1	27.9	27.9

単位:mm

印刷推奨範囲

	左	右	上	下
Letter縦	6.4	6.4	23.0	29.0
A4+縦	5.1	5.1	27.9	29.0
Letter+縦	5.1	5.1	27.9	29.0

単位:mm

はがきガイドを元に戻してください。

はがきガイドは、フォト光沢紙、はがき、フォト光沢ハガキ、封筒以外のときに立ててあると用紙が正しく送られない原因となります。他の用紙へ印刷するときのために、はがきガイドを元にもどしてください。

フォト光沢カードに印刷する

FM-101

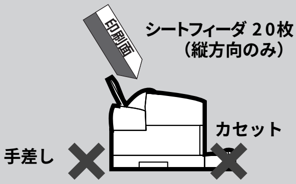
フォト光沢カードFM-101は、フォトインクを使用して写真を印刷するのに最適な、ミシン目付きのBJプリンタ専用紙です。ミシン目より少し大きめに印刷し切り離すことでカードいっぱいに絵柄を印刷できます。フォトフレームに飾る写真や、パーティの招待カードなどオリジナルカード作りにお勧めの用紙です。

ご使用の前にFM-101に添付の注意書を必ずご覧ください。

カラーセットと印刷面



給紙方法と積載枚数



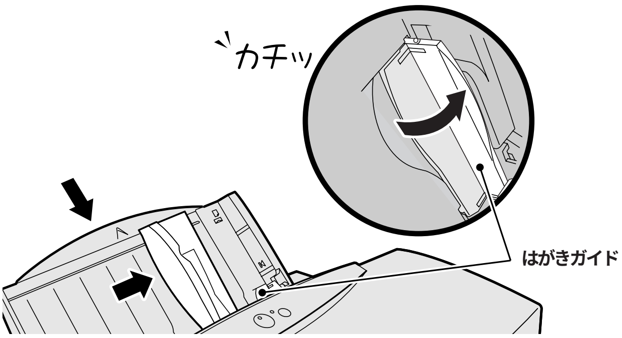
カラーセット

フォト光沢カードFM-101は、フォトカラーセットを使用すると、粒状感の少ない高精彩な自然画を印刷することができます。
カラーセットの詳細は、「BJ F8500の用途とカラー印刷」P.10、フォトカラーセットと標準カラーセットの交換は「カラーセットの交換と保管」P.12を参照してください。

用紙のセット

フォト光沢カードFM-101の印刷は、次の手順に従って印刷してください。

1 **右側のはがきガイドを立てます(左側のはがきガイドは立てないでください)。用紙サポートを下げ、用紙ガイドをフォト光沢カードより少し大きめにセットします。**



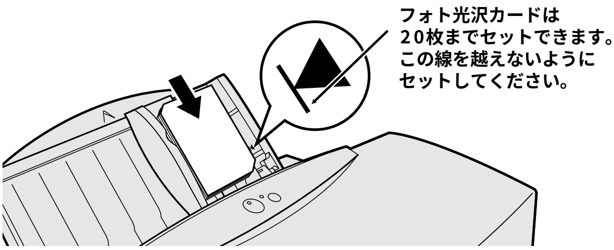
用紙の持ちかた

お願い　用紙を持つ場合は、端または裏面を支えるようにしてください。印刷面に触れると印刷の品質が低下することがあります。

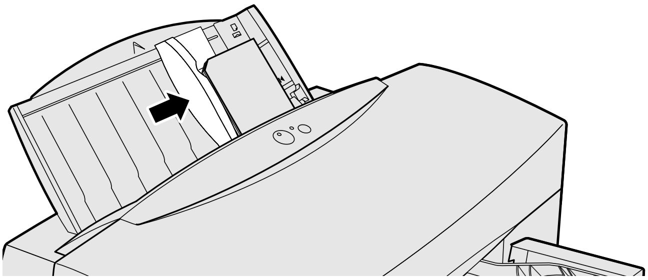
しわやカールなどに注意

お願い　しわがよったりカールしていない状態で使用してください。
カールしている場合は、逆向きに曲げてカールを直してください。このとき、カードの表面が波状にならないように注意してください。

2 印刷面を上にして、右端に沿って先端が当たるまで、まっすぐ差し込みます。

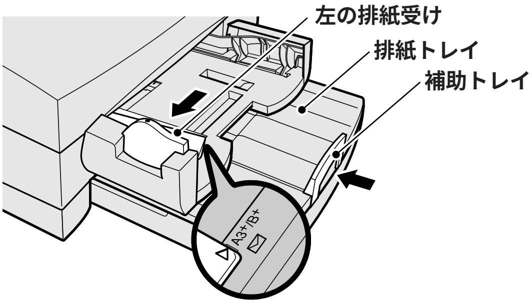


3 用紙ガイドを左から軽く押しあて、用紙幅にきっちり合わせます。



排紙受けユニットの調整

左の排紙受けを一番左の ✉ マークに、補助トレイを図の位置にセットします。



コンピュータからの設定

1 アプリケーションソフトで、印刷領域がミシン目より少し大きくなるように画像の大きさや余白等を設定します。
ミシン目より外側の部分は、仕上がりでは切り離されますので注意してください。

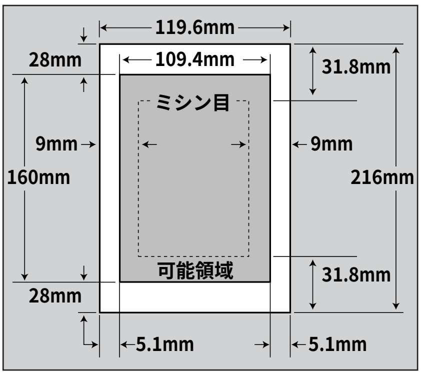
フォト光沢カードのセット方向

お願い フォト光沢カードは縦方向のみです。横方向にはセットしないでください。

給紙不良がおきたら

メモ 印刷中に給紙不良がおきたら、トラブルクリニックP.8「シートフィーダから用紙がうまく送られない」をお読みください。

印刷領域



メモ ミシン目で切り取ったサイズ：
101.6mm×152.4mm

2 「フォト光沢カード」にもっとも適した印刷をするように、プリンタドライバで必要項目を設定します。

例) 用紙サイズ：「フォトカード」
　　用紙の種類：「フォトカード」
　　給紙方法　：「オートシートフィーダ」

Macintoshをお使いのかたは
お願い
Machintoshのプリンタドライバでは、用紙のサイズと用紙の種類で「フォトカード」が選べない場合があります。その時は、次の手順にしたがって印刷してください。

Macintoshでフォト光沢カードに印刷する

Macintoshのプリンタドライバで「フォトカード」が選べない場合は、セレクタでBJ F8500が選択されていることを確認し、次の方法で印刷してください。

① アプリケーションソフトを起動し、ファイルメニューの［用紙設定］で［ユーザ定義用紙］を選びます。［用紙設計］でユーザ定義用紙のサイズを119.6mm(横)×213mm(縦)に設定します。

② ファイルメニューの［印刷］で用紙の種類を［光沢はがき］に、給紙方法は「オートシートフィーダ」を選びます。

耐水性について

プリンタドライバで「フォトカード」を選んだ場合、普通紙耐水強化剤は付与されません。しかしフォト光沢カードの場合、用紙の特性から印刷後ある程度時間をおけば、インクが用紙にしっかり定着し、耐水性を得ることができます。

印刷後の注意

密度の高い画像を印刷したときは

触れるとインクが付くことがありますので、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。

未使用のフォト光沢カードを保管するときは

フォト光沢カードが入っていた袋に入れ、直射日光のあたる所や高温多湿な所を避けてください。

参照 プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

Macintoshプリンタドライバについて
メモ
Macintoshプリンタドライバのバージョンによっては、フォト光沢カードの設定方法が左記とは異なります。用紙サイズと用紙の種類で「フォトカード」を選べる場合は、左記の手順①、②において「フォトカード」を選んでください。

はがきガイドを元に戻してください。
お願い
はがきガイドは、フォト光沢カード、はがき、フォト光沢ハガキ、封筒以外のときに立ててあると用紙が正しく送られない原因となります。他の用紙へ印刷するときのために、はがきガイドを元にもどしてください。

フォト光沢フィルムに印刷する

HG-201

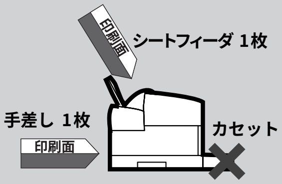
フォト光沢フィルム(HG-201)は、フォトインクを使用して印刷すると、もっとも精細に写真を再現するフィルム材質のBJプリンタ専用紙です。被写体の光沢感などの微妙な階調も再現できるので、カラー写真、写真ポスターなどの印刷に最適です。

ご使用の前にHG-201に添付の取扱説明書を必ずご覧ください。
なお、キヤノンで販売している光沢フィルムのうち、HG-101では、十分な印刷結果が得られませんのでご注意ください。

カラーセットと印刷面



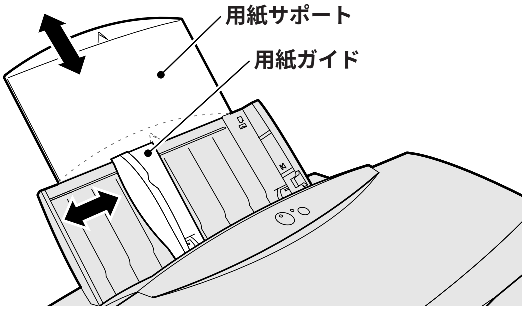
給紙方法と積載枚数



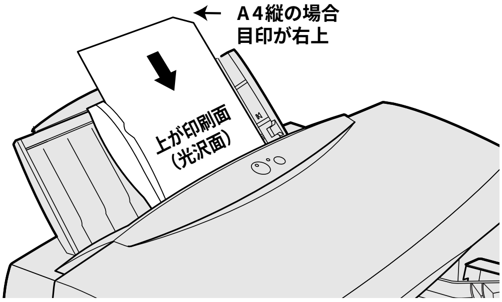
用紙のセット

フォト光沢フィルム(HG-201)はシートフィーダか手差し給紙を利用できます。フォト光沢フィルムは複数枚セットすると、紙詰まりをおこす原因となるので、次の手順に従って１枚ずつ印刷してください。

1 **用紙のサイズに合わせて、用紙サポートと用紙ガイドを調整します。**



2 **１枚を取り出し、印刷面(光沢面)を上にして、右端に沿って先端が当たるまで、まっすぐ差し込みます。**



用紙の持ちかた

お願い

用紙を持つ場合は、端または裏面を支えるようにしてください。印刷面に触れると印刷の品質が低下することがあります。

しわやカールなどに注意

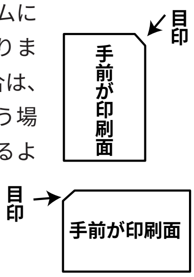
お願い

フォト光沢フィルムが極端にカールしている場合は、カールを取り除いて印刷してください。カールしているとカートリッジを傷つけたり故障の原因になります。

印刷面の見かた

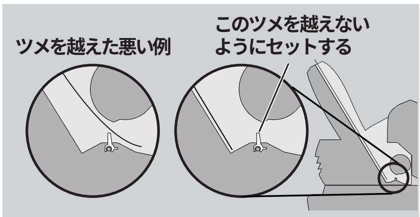
メモ

フォト光沢フィルムには、印刷面の目印があります。用紙を縦で使う場合は、目印を右上に、横で使う場合は、左上に目印がくるようにシートフィーダにセットしてください。

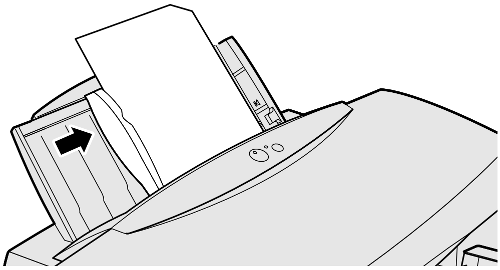


お願い

セットした際、シートフィーダの口をのぞくと、左右に黄色いツメがあります。用紙はそのツメの下に入るようにセットしてください。ツメの上に用紙がかぶると用紙がうまく送られません。

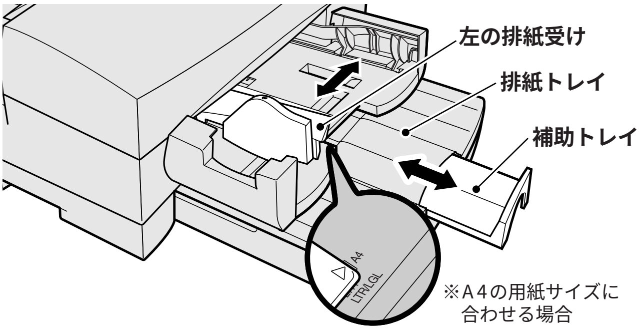


3 用紙ガイドを左から軽く押しあて、用紙幅にきっちり合わせます。



排紙受けユニットの調整

印刷する用紙に合わせ左の排紙受け、補助トレイおよび排紙トレイを調整します。



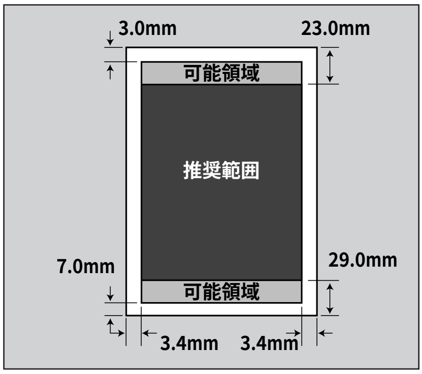
コンピュータからの設定

1 アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。

2 フォト光沢フィルムにもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

例) 用紙サイズ：ご使用のサイズを選びます。
用紙の種類：「光沢フィルム」
給紙方法　：ご使用の給紙方法を選びます。

印刷領域



参照 プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。
詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

印刷後の注意

お願い 密度の高い画像を印刷した場合は、触れるとインクが付くことがありますので、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。

印刷されたフォト光沢フィルムの保管上の注意

お願い 印刷したフォト光沢フィルムは、直射日光に長時間さらすと変色や退色しますので、印刷面に普通紙を1枚重ねて暗い所に保管してください。

未使用のフォト光沢フィルムの保管上の注意

お願い フォト光沢フィルムが入っていた袋に入れ、直射日光のあたる所や高温多湿の所を避けてください。

OHPフィルムに印刷する

CF-102

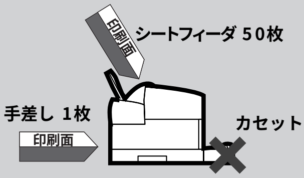
プロジェクタを使い、大型スクリーンに映写するOHPは、会議やプレゼンテーションなど、ビジネスの現場で今や無くてはならない存在です。BJ F8500ではカラーBJ用OHPフィルム(CF-102)をご用意しています。

専用のOHPフィルムCF-102をお使いください。他の製品を使用すると、用紙詰まりなどのトラブルを起こすことがあります。ご使用の前にCF-102のパッケージに印刷された注意書きを必ずご覧ください。

カラーセットと印刷面



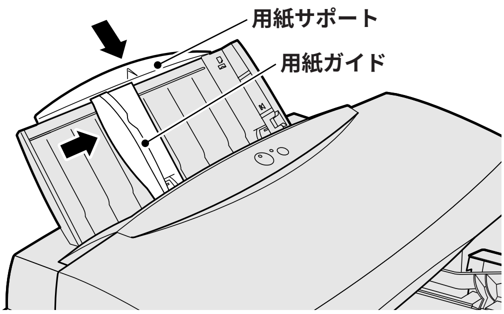
給紙方法と積載枚数



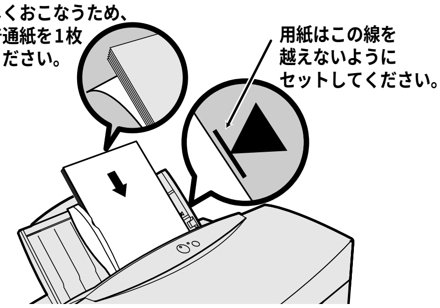
用紙のセット

OHPフィルム(CF-102)はシートフィーダか手差し給紙を利用できます。紙詰まりをおこさないためにも、次の手順に従って用紙をセットしてください。

1 **用紙サポートを下げ、用紙ガイドをA4より少し大きめにセットします。**



2 **印刷面を上にして、右端に沿って先端が当たるまで、まっすぐ差し込みます。**



お願い　BJC-820J/880J用のOHPフィルムCF-101をお使いになると、紙詰まりを起こすことがあります。また複写機用のOHPフィルムは、絶対に使用しないでください。

お願い　**用紙の持ちかた**

OHPフィルムを手に持つ場合は、端を持ってください。

お願い　**フィルムに傷や汚れがつかないよう注意してください。**

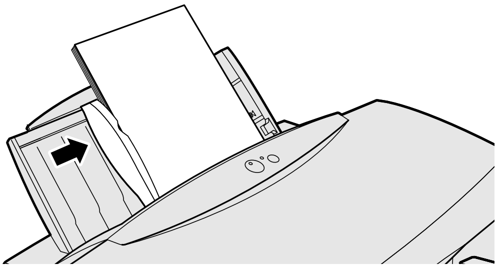
お願い　**しわやカールなどに注意**

OHPフィルムが極端にカールしている場合は、カールを取り除いてから印刷してください。カールしたままだとカートリッジを傷つけたり故障の原因になります。

メモ　OHPフィルムCF-102には、表裏はありません。どちらの面にでも印刷できます。

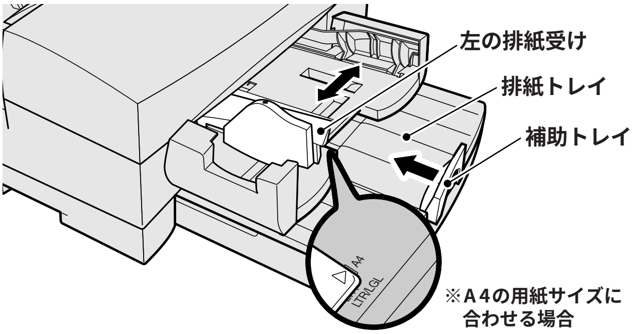
お願い　セットする用紙の枚数は積載マーク(▼)の下の線を越えないでください。

3 **用紙ガイドを左から軽く押しあて、用紙幅にきっちり合わせます。**



排紙受けユニットの調整

左の排紙受けと補助トレイをA4サイズに調整します。



コンピュータからの設定

1 アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。

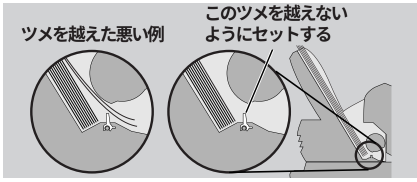
2 OHPフィルムにもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

例) 用紙サイズ：「A4」
用紙の種類：「OHPフィルム」
給紙方法　：ご使用の給紙方法を選びます。

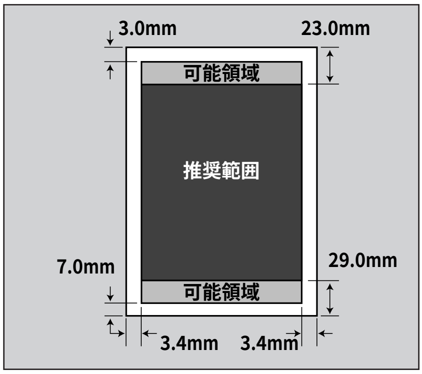
印刷が終わって、排紙されたら

排紙されたOHPフィルムは、重ならないよう、1枚ごとにトレイから取り去ってください。印刷面はインクが乾くまで(約15分)触らないでください。

お願い　セットした際、シートフィーダの口をのぞくと、左右に黄色いツメがあります。用紙はそのツメの下に入るようにセットしてください。ツメの上に用紙がかぶると用紙がうまく送られません。



印刷領域



参照　プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。
詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

お願い　印刷されたOHPフィルムの保管上の注意

乾燥後、印刷面がすれたりOHPフィルムどうしがくっついたりしないように、1枚ごとに印刷面に普通紙(コート紙は不可)を重ねて印刷面を保護してください。
クリアファイルなどに1枚ずつ保存する場合も、クリアファイルに付着しないように普通紙を重ねてください。

お願い　未使用のOHPフィルムの保管上の注意

OHPフィルムが入っていた袋に入れ、直射日光のあたる所や高温多湿の所を避けてください。

はがきに印刷する

KH-201N

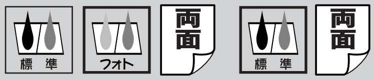
はがきは、フォト光沢ハガキ(KH-201N)か官製はがきに印刷できます。フォト光沢ハガキは、表面が光沢加工された、はがきサイズのBJ専用紙です。官製はがきよりも鮮明なカラー印刷に仕上がります。フォトインクを使用すれば、さらに美しい写真プリントが得られます。

折り目のついた往復はがきはご使用にならないでください。

ご使用の前にKH-201Nに添付の取扱説明書を必ずご覧ください。

カラーセットと印刷面

▼フォト光沢ハガキ　▼官製はがき



給紙方法と積載枚数



はがきの種類を確認

通常の官製はがきは普通紙同様にコートされていませんが、フォト光沢ハガキ(KH-201N)はコートされています。使用するはがきの種類に合わせて、プリンタドライバの「用紙の種類」を設定します。官製はがきの場合は「はがき」を、フォト光沢ハガキの場合は「光沢はがき」を選んでください。

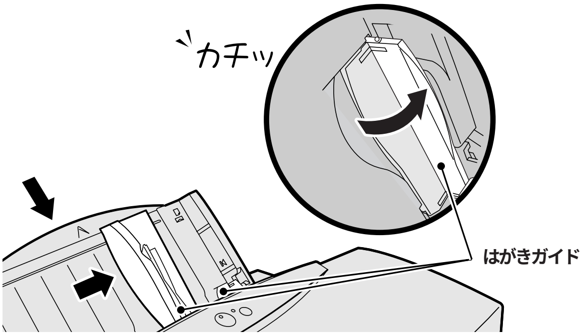
カラーセットの選びかた

官製はがきで印刷する場合は、標準カラーセットで印刷してください。カラー耐水となります。
フォト光沢ハガキに写真やグラデーションを使った印刷をする場合は、フォトカラーセットで印刷してください。

用紙のセット

官製はがき、フォト光沢ハガキともシートフィーダにセットします。紙詰まりをおこさないためにも、次の手順に従ってはがきをセットしてください。

1　両側のはがきガイドを立て、用紙サポートを下げ、用紙ガイドをはがきのサイズより広めにします。



はがきの持ち方

お願い　はがきはできるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。印刷面に傷が付いたり汚れたりすると、印刷品質が低下します。

しわやカールなどに注意

お願い　しわがよったりカールしていないはがきを使用してください。
カールしている場合は、逆向きに曲げてカールを直してください。このとき、はがきの表面が波状にならないように注意してください。

メモ　フォト光沢ハガキの宛名面を標準カラーセットで印刷したとき、文字がにじむことがあります。この場合はプリンタドライバの「用紙の種類」を「はがき」に変えて印刷してください。

お願い　写真やステッカーを貼ったはがきは、使用しないでください。正しく紙送りできません。

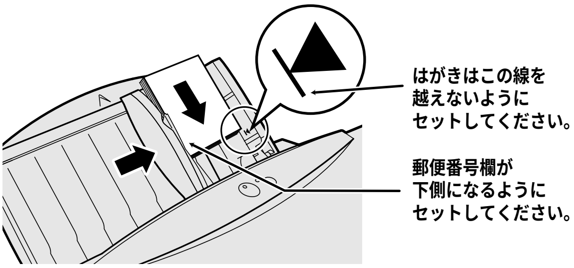
はがきのセット方向

お願い　フォト光沢ハガキは縦方向のみです。横方向にはセットしないでください。
官製はがきは縦、横両方ともセットできます。

往復はがきについて

メモ　折り目のついた往復はがきは正しく紙送りできません。往復はがきに印刷する場合は、折り目をつける前に印刷してください。

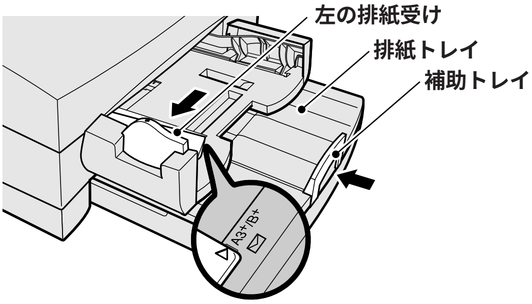
2 印刷面を上にして、右端に沿って先端が当たるまで、まっすぐ差し込みます。



3 用紙ガイドを左から軽く押しあて、用紙幅にきっちり合わせます。

排紙受けユニットの調整

左の排紙受けを一番左の✉マークに、補助トレイを図の位置にセットします。



コンピュータからの設定

1. アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。
2. はがきにもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

例) 用紙サイズ：「はがき」
用紙の種類：「光沢はがき」または「はがき」
給紙方法　：「オートシートフィーダ」

印刷が終わって、排紙されたら

密度の高い画像をプリンタドライバの設定で高品位または最高品位で印刷した場合、インクが乾くまで時間がかかるため(約2～5分)、印刷後１枚ずつ取り去ってください。

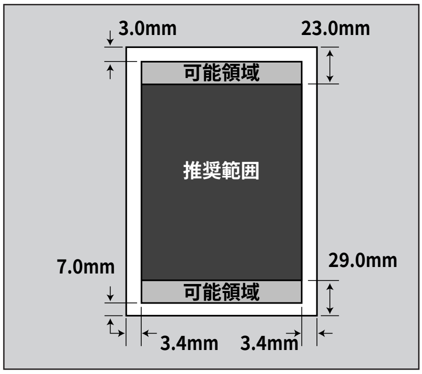
はがきをセットする前に

お願い　はがきは保管状態によっては、湿気を吸い厚くなっていることがあります。その場合は、セットするはがきの枚数を減らしてください。

両面に印刷するときは

お願い　すでに印刷した面が乾いたことを確かめて、カールをなおしてセットしてください。

印刷領域



参照　プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。
詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

普通紙耐水強化剤について

メモ　プリンタドライバの「用紙の種類」が「はがき」のときは普通紙耐水強化剤が有効になります。ただし「印刷品位」が「高速」の場合は「はがき」を選んでも有効とはなりません。

はがきガイドを元に戻してください。

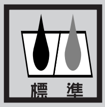
お願い　はがきガイドは、はがき、フォト光沢ハガキ、封筒以外のときに立ててあると用紙がシートフィーダのツメにかからず、用紙が正しく送られない原因となります。他の用紙へ印刷するときのために、はがきガイドを元にもどしてください。

封筒に印刷する

市販の洋形4号、6号の封筒に印刷できるので、宛名書きばかりでなく、自分でデザインしたロゴマークやデザインを印刷したり、店名や社名を入れたオリジナル封筒が作れます。もちろん大切なビジネス通信にも安心な普通紙カラー耐水です。

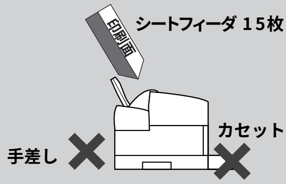
必ず洋形4号または洋形6号のサイズのもの(ライフ製洋形4号および6号封筒を推奨)を使用してください。他のサイズのものは使用できません。

カラーセットと印刷面





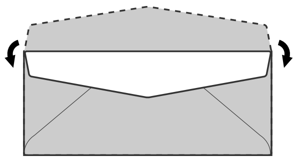
給紙方法と積載枚数



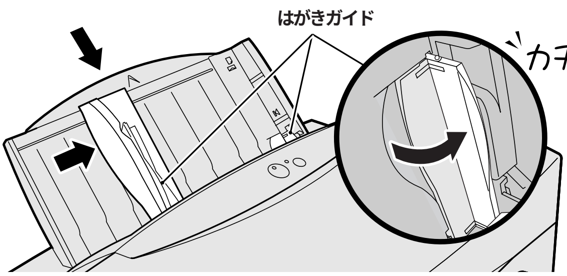
用紙のセット

洋形4号または6号の封筒を、シートフィーダにセットできます。紙詰まりをおこさないためにも、次の手順に従ってはがきをセットしてください。

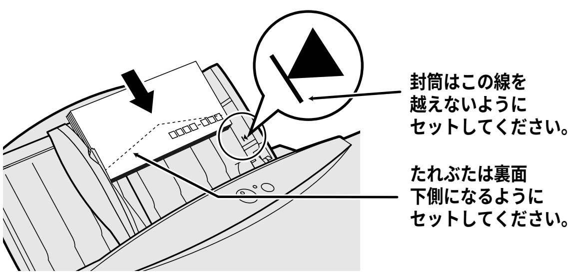
1 **たれぶたがしっかりと折曲がっていることを確認してください。**



2 **両側のはがきガイドを立て、用紙サポートを下げ、用紙ガイドを封筒の幅より大きめに合わせます。**



3 **宛名面を上にして、右端に沿って先端が当たるまで、まっすぐ差し込みます。**



使用できない封筒

お願い

しわやカールしている封筒は使用しないでください。

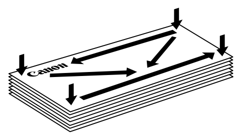
封筒のたれぶたの部分が二重になっているものや、シールになっているものは使用しないでください。正しく送られません。

型押しやコーティング等の表面加工してある封筒は使用しないでください。きれいに印刷できません。

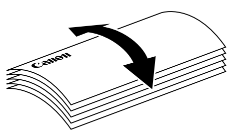
封筒のセットのしかた

お願い

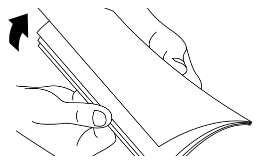
①矢印の方向に爪でしごき、よくつぶしてください。特に角は1枚ずつ、よくつぶしてください。



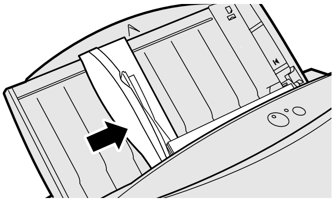
②宛名面が凸状になるように、曲げくせをつけてください。



③よくさばいてください。

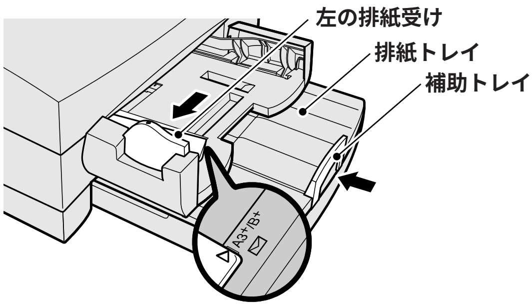


4 **用紙ガイドを左から軽く押しあて、用紙幅にきっちり合わせます。**



排紙受けユニットの調整

左の排紙受けを一番左の✉マークに、補助トレイを図の位置にセットします。



コンピュータからの設定

1 アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。

2 封筒にもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

例）用紙サイズ：「洋形４号」または「洋形６号」
　　用紙の種類：「封筒」
　　給紙方法　：「オートシートフィーダ」

印刷が終わって、排紙されたら

大きく太い文字を印刷する場合は、印刷面のインクが次に排紙された封筒に付着することがあるので、１枚ずつ取り去ってください。

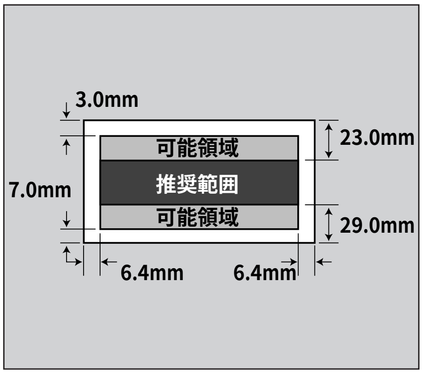
横置きでセット

封筒は必ず横置きでセットしてください。縦置きでは正しく用紙送りしません。

印刷面は宛名面のみです

たれぶた側を下にしてシートフィーダに差し込んでください。

印刷領域



プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。
詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

普通紙耐水強化剤について

プリンタドライバの「用紙の種類」が「封筒」のときは普通紙耐水強化剤が有効になります。ただし「印刷品位」が「高速」の場合は「封筒」を選んでも有効とはなりません。

はがきガイドを元に戻してください。

はがきガイドは、はがき、フォト光沢ハガキ、封筒以外のときに立ててあると用紙がシートフィーダのツメにかからず、用紙が正しく送られない原因となります。他の用紙へ印刷するときのために、はがきガイドを元にもどしてください。

BJクロスに印刷する

FS-101

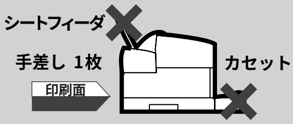
BJクロス(FS-101)は、特殊加工された木綿100%の、BJプリンタ専用布製シートです。表面に写真やイラストなどを、自由にカラー印刷することができます。ぬいぐるみやアップリケの素材作りなど、自作のテキスタイルでよりオリジナル性の高いグッズ作りが楽しめます。

ご使用の前にFS-101に添付の取扱説明書を必ずご覧ください。

カラーセットと印刷面



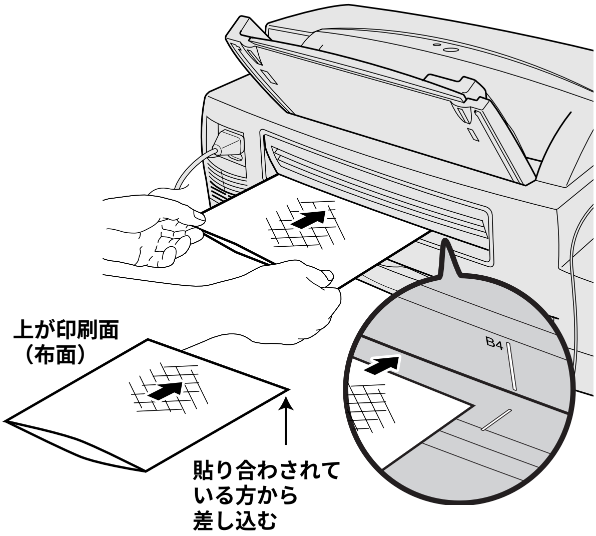
給紙方法と積載枚数



用紙のセット

BJクロスは手差し給紙になります。紙詰まりをおこさないためにも、手差し給紙口から１枚ずつ、次の手順に従って用紙をセットしてください。

1 **布面を上にして、用紙を手差し給紙口の左端に沿わせ、突き当たるまで、まっすぐ差し込みます。**



2 **そのまま２秒ほど持っていると自動的に少し送られて印刷開始位置にセットされます。用紙の入り込みが悪い場合には、突き当たった後に、用紙を少し強めに押した状態で待機してください。**

⚠ **注意** 同梱されている色止め剤は幼児の手の届かないところに保管してください。

ご使用の前に

お願い

BJクロス裏面のフィルムは、印刷が終わるまで取らないでください。

印刷面には、触れないでください

お願い

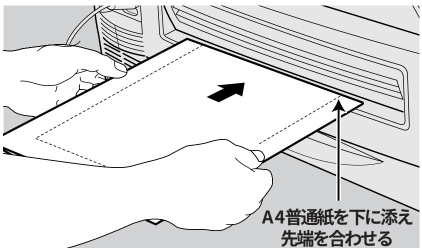
濡れた手や汚れた手で、BJクロスの表面にさわらないでください。

用紙の入り込みが悪い場合は

メモ

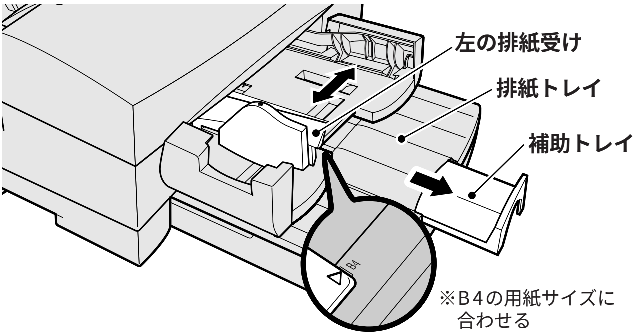
A４の普通紙を下に敷いて、セットして下さい。

※BJクロスとA４の普通紙の先端を合わせる。



排紙受けユニットの調整

左の排紙受けと補助トレイをB4サイズに調整します。



コンピュータからの設定

1 アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。

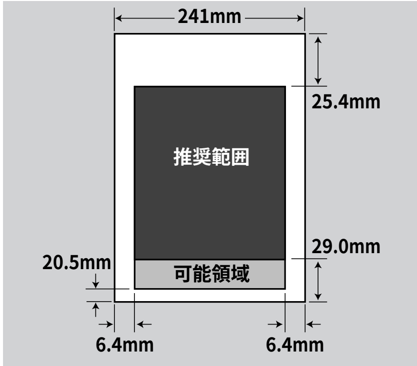
2 BJクロスにもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

例) 用紙サイズ：「A4」
用紙の種類：「BJクロス」
給紙方法　：「手差し」

印刷が終わったら

印刷が終わったら1時間そのままで乾燥させてください。その後、水洗いして仕上げます。
仕上げに関しては、FS-101に添付の取扱説明書を参照してください。ただし色止め処理に関しては行う必要はありません。

印刷領域



参照 プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。
詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

長くお使いいただくために

メモ 印刷後のBJクロスは、色落ちや色移りが起きないよう、次の点に注意してください。

- 長時間濡れた状態にしておかないでください。
- 他の衣類と一緒に洗わないでください。
- 石鹸や漂白剤は使用しないでください。
- 防水スプレーやスプレー糊は使用しないでください。
- ドライクリーニングは避けてください。
- 脱水機や乾燥機を用いると色移りすることがあります。

印刷後の注意

お願い 密度の高い画像を印刷した場合は、触れるとインクが付くことがありますので、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。

保管上の注意

お願い BJクロスが入っていた袋に入れ、直射日光のあたる所や高温多湿の所を避けて、曲がったり、しわがよらないように水平にして保管してください。

Tシャツ転写紙に印刷する

TR-201

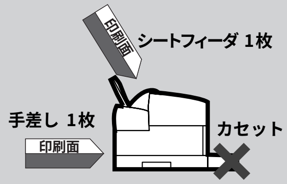
Ｔシャツ転写紙(TR-２０１)は、ＴシャツにアイロンプリントするためのBJプリンタ専用転写紙です。ロゴ入りＴシャツや写真つきＴシャツなど、会社などでの展示会やイベント用のオリジナルＴシャツ作りに、家族やサークルなどの仲間同士のユニフォーム作りに、ビジネスからプライベートまで幅広く活用できます。

ご使用の前にTR-２０１に添付の取扱説明書を必ずご覧ください。

カラーセットと印刷面



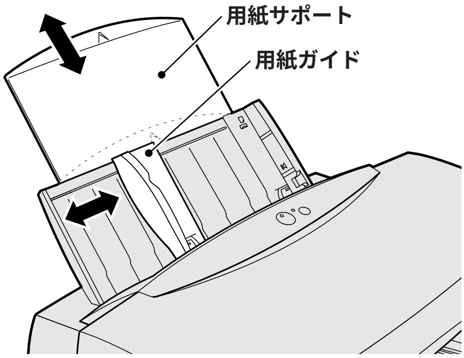
給紙方法と積載枚数



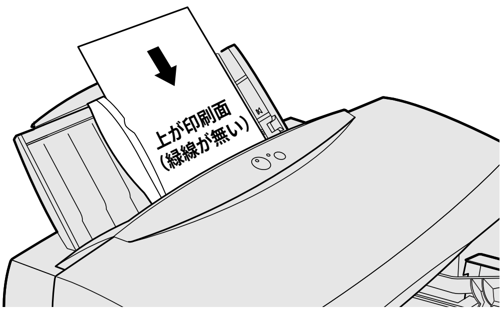
用紙のセット

Tシャツ転写紙は、シートフィーダか手差し給紙を利用できます。紙詰まりをおこさないためにも、次の点に注意してセットしてください。

1 **用紙のサイズに合わせて、用紙サポートと用紙ガイドを調整します。**



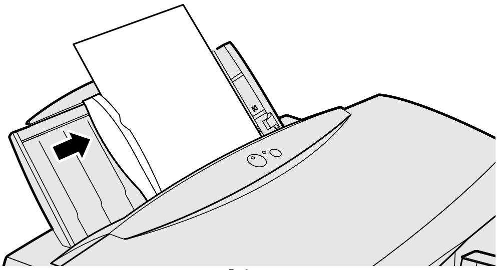
2 **１枚を取り出し印刷面を上にして、右端に沿って先端が当たるまで、まっすぐ差し込みます。**



カールなどに注意

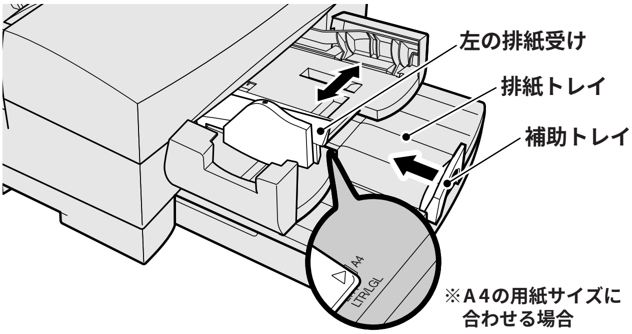
お願い　Tシャツ転写紙がカールしている場合は、カールを取り除いてから印刷してください。カールしたまま印刷するとカートリッジを傷つけたり故障の原因になります。

3 用紙ガイドを左から軽く押しあて、用紙幅にきっちり合わせます。



排紙受けユニットの調整

印刷する用紙に合わせて左の排紙受け、補助トレイおよび排紙トレイを調整します。



コンピュータからの設定

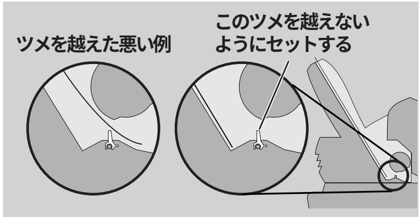
1. アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。
2. Tシャツ転写紙にもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

例) 用紙サイズ： ご使用の用紙サイズを選びます。
用紙の種類：「Tシャツ転写紙」
給紙方法　： ご使用の給紙方法を選びます。

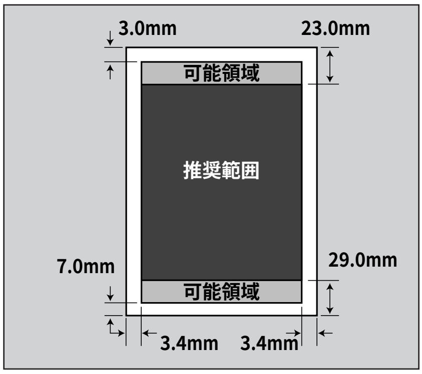
印刷が終わったら

インクの乾いたTシャツ転写紙は、速やかに転写(アイロンがけ)してください。転写の仕方は、TR-201に添付の取扱説明書にしたがって行ってください。

お願い　セットした際、シートフィーダの口をのぞくと、左右に黄色いツメがあります。用紙はそのツメの下に入るようにセットしてください。ツメの上に用紙がかぶると用紙がうまく送られません。



印刷領域



参照　プリンタドライバの設定については「プリンタドライバで印刷用途にあった設定をする」P.16を参照してください。詳しくは「Windows プリンタドライバガイド」、「Macintosh プリンタドライバガイド」、「アプリケーションソフトの説明書」をお読みください。

メモ　Tシャツにアイロンで転写した際に正像になるように左右反転して印刷されます。

お願い　印刷後の注意

密度の高い画像を印刷した場合は、触れるとインクが付くことがありますので、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。

お願い　保管上の注意

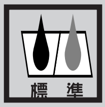
Tシャツ転写紙が入っていた袋に入れ、直射日光のあたる所や高温多湿の所を避けてください。

バナー紙(長尺紙)に印刷する

バナー紙(長尺紙)は、カラーBJ用普通紙(LC-301)と同等の品質で、横210mm、縦最高5940mmの用紙サイズまで印刷できる、BJプリンタ専用長尺紙です。パーティ会場の垂れ幕などからオリジナル店頭ＰＯＰなど、大型ディスプレイでインパクトのある効果が期待できます。

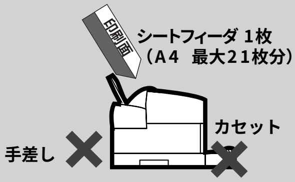
ご使用前にバナー紙(長尺紙)に添付の取扱説明書を必ずご覧ください。

カラーセットと印刷面





給紙方法と積載枚数

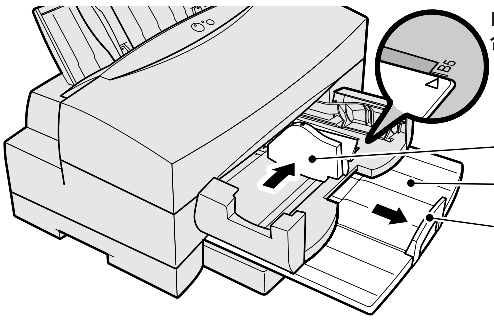


排紙受けユニットの調整

左の排紙受けをB5サイズに調整します。

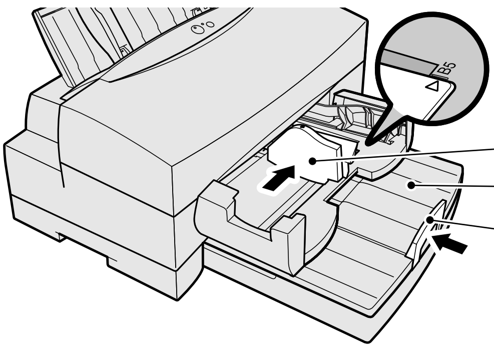
カセットを短く使用している場合

排紙トレイを最大位置に引き出します。補助トレイは収納します。



カセットを長く伸ばして使用している場合

補助トレイを収納します。



お願い　インク残量を確認

バナー紙の印刷には大量のインクが消費されます。印刷中にBJカートリッジやインクタンクの交換はできませんので、必要に応じて新しいインクタンクをセットし、印刷を始めてください。

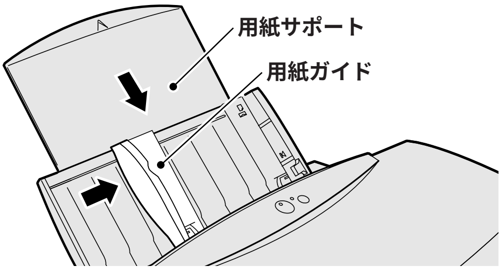
メモ　1回に印刷できる最大枚数は20枚の長さです

印刷できる最大枚数は20枚です。20枚印刷したい場合は、１枚多い、21枚を切り離し、シートフィーダにセットしてください。

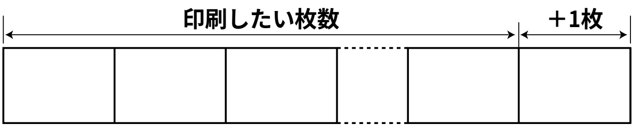
用紙のセット

バナー紙への印刷はシートフィーダから行います。紙詰まりや印刷汚れをおこさないためにも、次の手順に従ってセットしてください。

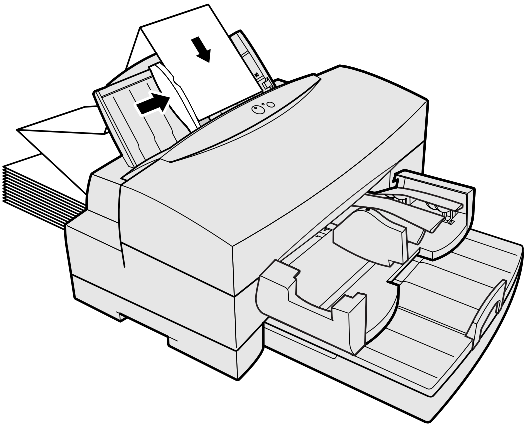
1 **用紙サポートを下げ、用紙ガイドをA4にセットします。**



2 **バナー紙を印刷する枚数より1枚多く切り取り、プリンタの後ろに置きます(印刷部数は１部のみです)。**



3 **印刷面を上にして、1枚目と2枚目の間のミシン目が山折りになるように、右端に沿って先端が当たるまで、シートフィーダにまっすぐ差し込みます。**



4 **用紙ガイドを用紙との間が1mm弱のすき間があくように軽く合わせます。**

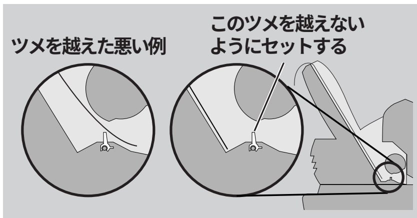
用紙の枚数を１枚多くセットする理由

最後の１ページの紙送りを正しく行うため、１枚多く切ってシートフィーダにセットします。

用紙の置きかた

印刷しようとするバナー紙は、プリンタの後ろに垂らさずプリンタの後ろに置いてください。

セットした際、シートフィーダの口をのぞくと、左右に黄色いツメがあります。用紙はそのツメの下に入るようにセットしてください。ツメの上に用紙がかぶると用紙がうまく送られません。



印刷されたバナー紙の保管上の注意

印刷したバナー紙は、直射日光に長時間さらすと変色や退色しますので、印刷面に普通紙を１枚重ねて暗い所に保管してください。

未使用のバナー紙の保管上の注意

バナー紙が入っていた袋に入れ、直射日光のあたる所や高温多湿の所を避けてください。

コンピュータからの設定

1 アプリケーションソフトで、印刷領域が推奨範囲内になるように余白等を設定し、印刷するデータを作成します。

2 バナー紙にもっとも適した印刷をするように、WindowsまたはMacintoshのプリンタドライバで必要項目を設定します。

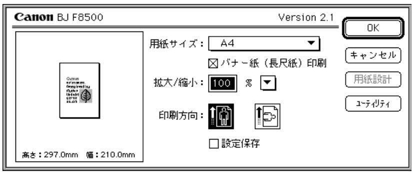
Windows

プリンタドライバの用紙シートでバナー紙(長尺紙)印刷の□をクリックします。
バナー紙印刷の確認画面が表示されます。
ヘルプ画面を表示させ手順に従って設定してください。

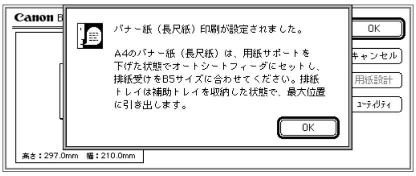


Macintosh

プリンタドライバの用紙設定でバナー紙(長尺紙)印刷の□をクリックし☒ にし、 OK をクリックします。



バナー紙印刷の確認画面が表示されます。

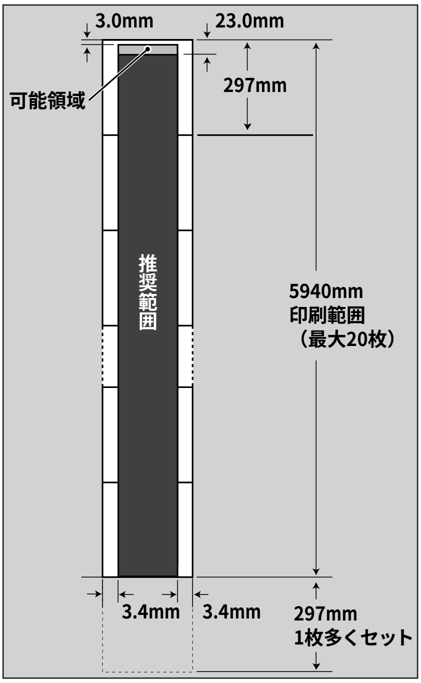


3 「用紙の種類」が「普通紙」、「BJカートリッジ」が「ブラック／カラー」であることを確認して、印刷します。

印刷中の注意

印刷中排紙受けは開きません。排紙されたバナー紙の印刷面が重ならないように、排紙される部分をまっすぐに伸ばしてください。また、排紙された用紙にしわがよるときには用紙を伸ばしてしわを取ってください。しわがよると排紙がまっすぐに行われません。

印刷領域



※推奨範囲は印刷する枚数より1枚多くセットしたときのものです。

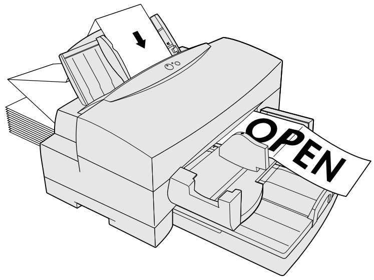
お願い 印刷部数は１部に設定

アプリケーションソフトで印刷部数を2部以上に設定すると、正しく印刷されません。必ず印刷部数は１部に設定してください。

メモ Windowsドライバで設定できない項目

Windowsドライバでバナー紙に印刷する時には、上記以外にも「逆順で印刷」「部単位で印刷」「ページレイアウト」「拡大／縮小印刷機能」「スタンプ」など利用できないものがあります。

バナー紙に印刷中の図



日常のお手入れ

日常のお手入れについて

プリンタが汚れたり、ほこりがついていると、きれいな印刷の妨げとなるばかりか、プリントヘッドなどを損傷する原因ともなります。プリンタの性能を引き出し、きれいな印刷を得るためには、定期的にプリンタの清掃をする(→P.70)ことが大切です。また、インクが無くなったり、印刷がかすれたりしたときは次の方法で対処してください。

インクが無くなった場合

インクタンクは各色独立しているので、特定のインクが無くなったときは、そのインクタンクだけを交換できます。インクが無くなると正しい色で印刷されませんので注意してください。(インクタンクの交換→P.62)

メモ

インク残量警告

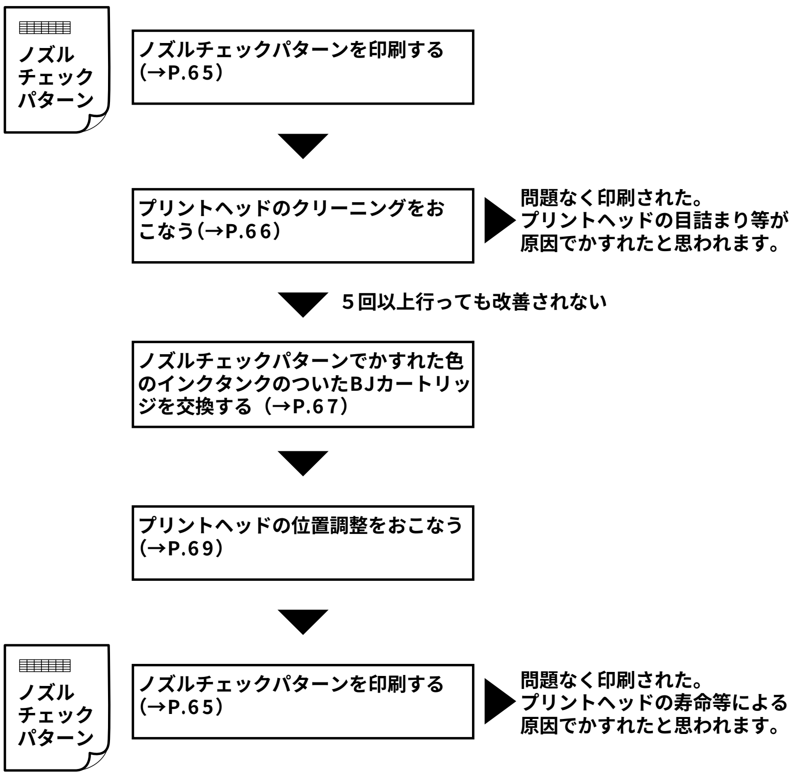
インクの残りが約20%を切ると、印刷したときに無くなりかけているインクの残量警告がでます。取り換え用のインクタンクを用意してください。

インク無しエラーメッセージ

インクがほとんど無くなると、その印刷終了時にインク無しエラーメッセージが表示されます。詳しくはP.62インクタンクの交換を参照してください。

印刷がかすれた場合

印刷がかすれた場合は、次の手順で原因を調べ対処してください。



ノズルチェックパターンの印刷(→P.65)

印刷がかすれたときは、ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態(各ノズルからインクが正常に出ているか)を確めます。
ノズルチェックパターンは、各ノズルごとに格子状のパターンが印刷され、以下の症状を知ることができます。

●パターンの１部分がかすれるときはノズル に目詰まりがあるか破損している
●一つのパターンがまったく印刷されないときはそのインクがなくなっている

プリントヘッドのクリーニング(→P.66)

ノズルチェックパターンの印刷の結果、ノズルに目詰まりがあると思われるときは、プリントヘッドのクリーニングを行います。軽度の目詰まりは、プリントヘッドのクリーニングで回復することができます。プリントヘッドのクリーニングは5回を目安に行ってください。それでも回復できないときは、BJカートリッジの交換など他の方法を試してください。

BJカートリッジの交換(→P.67)

プリントヘッドが破損したりプリントヘッドのクリーニングをしても「かすれ」を回復できないときは、BJカートリッジを取り換える必要があります。

メモ　キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの〝環境保全と資源の有効活用〟の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジを、下記マークのある販売店または最寄りのサービスセンターやゼロワンショップなどのキヤノン販売営業拠点までお持ちいただければ幸いと存じます。

Canon
キヤノン製カートリッジ
回収協力店

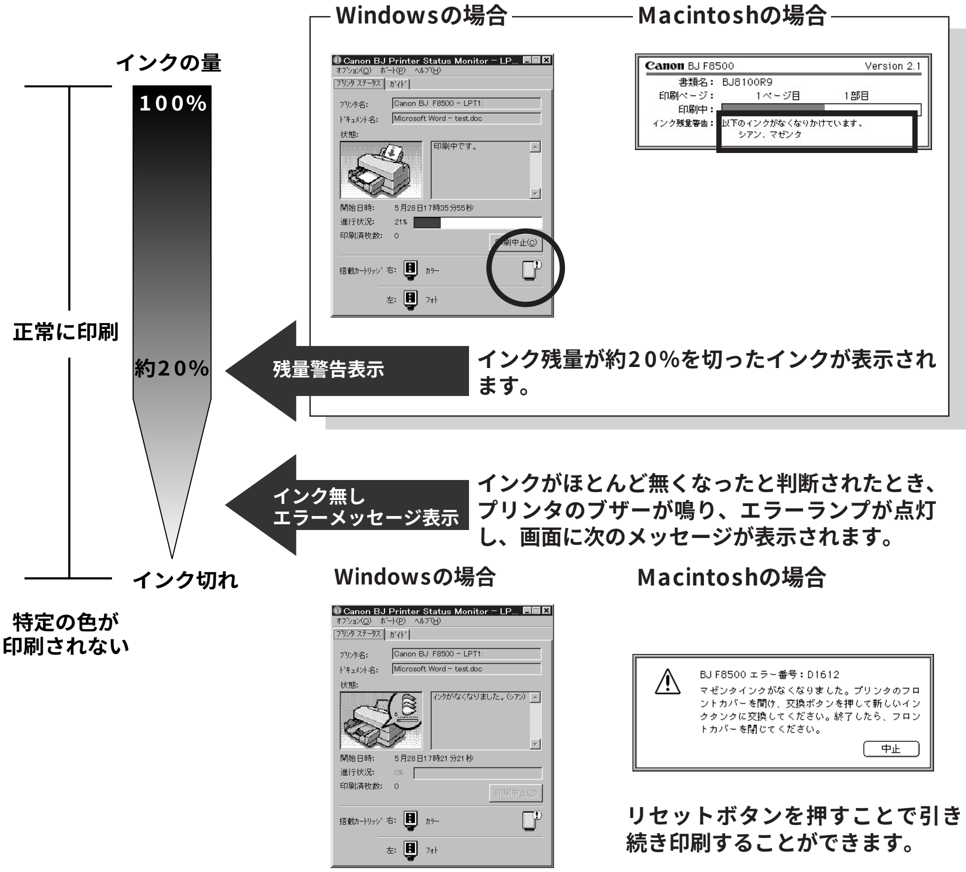
プリントヘッドの位置調整(→P.69)

BJカートリッジを交換したときは、より精度の高いきれいな印刷結果を得るために、プリントヘッドの位置調整を行います。BJカートリッジ交換後は、「プリントヘッドの位置調整」を行うことをお勧めします。

インクタンクの交換（インクが無くなったときは）

インクタンク交換の目安

BJ F8500では、インクの約80%が無くなったときインクの「残量警告表示」が画面上に表示され、残りのインクで印刷していると、さらにインクが消費されて「インク無しエラーメッセージ」が表示され印刷が中断します。このときリセットボタンを押すことで、エラー状態を解除し印刷を再開することができます。この場合、印刷する内容がそれほど多くのインクを消費しないときは正常な印刷結果を得ることができる場合がありますが、印刷する内容によっては印刷中にインクが無くなる可能性もありますので、早めにインクタンクを交換することをお勧めします。
「インク無しエラーメッセージ」は、新しいインクタンクに交換しないで印刷を継続すると、その後も表示されます。



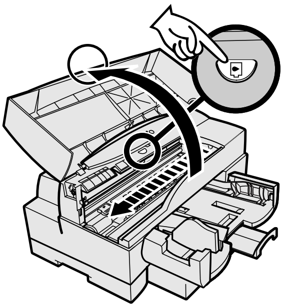
メモ
- インクタンクを取り外さない限り、そのインクが完全に無くなっても印刷を継続することができます。例えばカラーのインクが無くなってもブラックのみの印刷を継続できます。
- リセットボタンを押して印刷を継続した場合、エラーメッセージがひんぱんに出ることがあります。この場合はインクタンクを早めに交換することをお勧めします。
- ネットワークでプリンタを共有してお使いの場合、プリンタステータスが表示されない場合があります。このときは上記のような画面は表示されず、インクが無くなったときにインク無しエラー(→トラブルクリニック P.57)になります。インク無しエラーメッセージが表示された状態と同様にリセットボタンを押すことで引き続き印刷を続けることができます。

インクタンクの交換方法

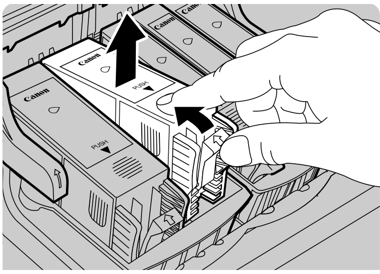
お願い

- インクタンクを交換するときは、必ず１つずつ行い、入れる場所をまちがえないように注意してください。正常に印刷できなくなります。
- 保護キャップは再利用しないでください。インクタンクのインク出口には手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

1 **電源が入っていることを確認し、フロントカバーの取っ手に指をかけ、カバー全体を持ち上げます。交換ボタンを押すと、BJカートリッジホルダが交換ポジションまで移動します。**

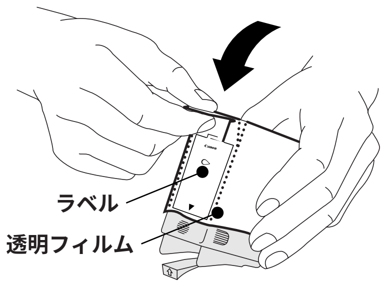


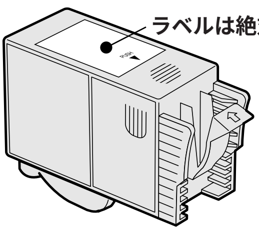
2 **インクタンクの手前についている小さな突起部を押しながら上に引き上げて取り出します。**



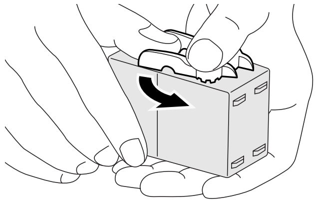
3 **新しいインクタンクを袋から取り出し、オレンジ色のテープを持ってインクタンクを覆っている透明フィルムをはがします。**

注意 透明フィルムをはがすとき、その下にあるインクタンクのラベルまではがさないように注意してください。ラベルをはがすと使用できなくなります。



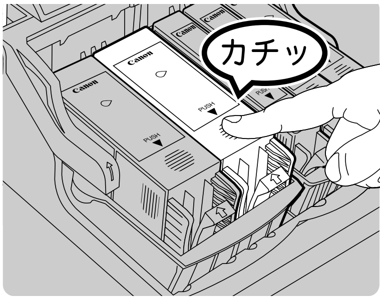


4 オレンジ色の保護キャップを押さえながら、矢印の方向にゆっくりまわして取り外します。

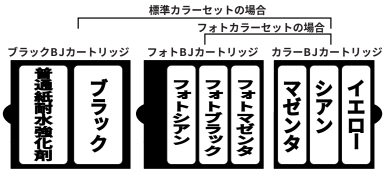


注意
保護キャップは再利用しないでください。
インク出口には手を触れないでください。
インクが正しく供給されなくなります。

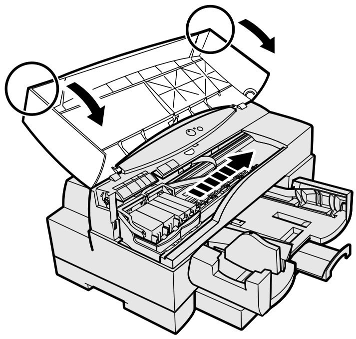
5 新しいインクタンクをBJカートリッジに、カチッと音がするまで押し込みます。



各BJカートリッジのインクタンクの並び方は次の通りです。



6 フロントカバーの左右のカドを両手で持って、カバーを閉めます。BJカートリッジホルダが、右端のホームポジションへ戻り、プリントヘッドのクリーニングが始まります。



お願い
残量警告表示が表示される前に、インクタンクを新しいインクタンクと交換した場合には、プリントヘッドの自動クリーニングは行なわれません。
交換したインクタンクのみのプリントヘッドのクリーニングを行ってください。インクタンクごとのクリーニングは、プリンタドライバの「ユーティリティ」の「インクタンク別のクリーニング」 で行えます。
詳しくはWindowsまたはMacintoshの「プリンタドライバガイド」を参照してください。

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルから正しくインクが吐出され、正常な印刷ができる状態かをチェックするためのパターンを印刷します。ノズルチェックパターンの印刷状態により、ノズルの目詰まりやインク切れによる異常を知ることができます。

1 A4サイズの普通紙をシートフィーダにセットします。

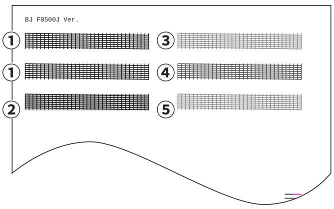
2 電源がオフになっていることを確認します。

オフになっていなければ[電源]ボタンを押し、電源をオフにします。

3 [電源]ボタンを押し続け、2回目のブザーが鳴ったら離します。

用紙が給紙され、ノズルチェックパターンの印刷が始まります。
ノズルチェックパターンは1枚だけ印刷されます。

標準カラーセットのノズルチェックパターン



ブラックBJカートリッジ(BC-80)

①ブラックインクタンク（BCI-8BK）のパターン

②普通紙耐水強化剤（BCI-8WF）のパターン

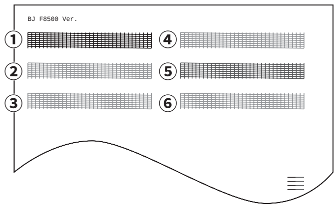
カラーBJカートリッジ(BC-81)

③シアンインクタンク（BCI-8C）のパターン

④マゼンタインクタンク（BCI-8M）のパターン

⑤イエローインクタンク（BCI-8Y）のパターン

フォトカラーセットのノズルチェックパターン



フォトBJカートリッジ(BC-82フォト)

①フォトブラックインクタンク（BCI-8PBKフォト）のパターン

②フォトシアンインクタンク（BCI-8PCフォト）のパターン

③フォトマゼンタインクタンク（BCI-8PMフォト）のパターン

カラーBJカートリッジ(BC-81)

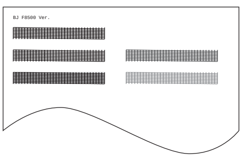
④シアンインクタンク（BCI-8C）のパターン

⑤マゼンタインクタンク（BCI-8M）のパターン

⑥イエローインクタンク（BCI-8Y）のパターン

インクが無くなった場合

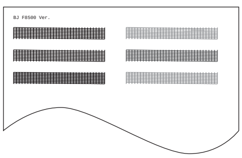
インクが無くなった場合は、そのインクを使ったパターンが印刷されません。



シアンインクタンク(BCI-8C)のインクが無くなった場合

ノズルに目詰まりなどがある場合

ノズルに目詰まりがある場合は、パターンにかすれが出てきれいに印刷されません。

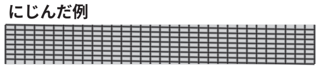


BJカートリッジ(BC-81)のシアンノズルに目詰まりがある場合

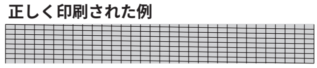
普通紙耐水強化剤が正しく吐出されない場合

普通紙耐水強化剤が無くなったり、ノズルの目詰まりで正しく出なくなった場合は、黄色の下地に印刷された黒のパターンがにじんでしまいます。

にじんだ例



正しく印刷された例



お願い　ノズルチェックパターンがきれいに印刷できないときは、プリントヘッドのクリーニング(→P.66)を行います。それでもきれいにでないときは、P.60の手順に従って対処してください。

メモ　ノズルチェックパターンは、同梱されているプリンタドライバ(Windows/Macintosh)の「ユーティリティ」からも行うことができます。詳しくは、それぞれの「プリンタドライバガイド」をお読みください。

プリントヘッドのクリーニングを行う

ノズルチェックパターンがかすれたり、欠けたりしてきれいに印刷されない場合には、ノズルからインクが正しく出ていないことが考えられます。この場合には、下記の手順に従ってプリントヘッドのクリーニングを行ってください。
クリーニングを5回以上繰り返しても正常に印刷されないときは、かすれた色のインクタンクの交換(→P.62)、または次ページのBJカートリッジの交換を行ってください。

1 **プリンタの電源が入っていることを確認します。**

2 **[リセット]ボタンをブザーが1回鳴るまで(1秒程度)押し続け、指を離します。**

プリントヘッドのクリーニングが始まります。

クリーニング中は［ 電源 ］ランプが点滅します。
クリーニングが終了すると［ 電源 ］ランプは点灯します。

ここで再びノズルチェックパターンを印刷して、印刷品位を確認してください。まだきれいに印刷できない場合には、プリントヘッドのクリーニングを2～5回ほど行ってください。

メモ

- プリントヘッドのクリーニングを行うとインクを消費します。不必要なクリーニングは避けてください。
- ノズルチェックパターンとプリントヘッドのクリーニングはWindowsまたはMacintoshプリンタドライバの「ユーティリティ」からも行うことができます。インクタンクごとのプリントヘッドのクリーニングも行うことができますので、１色にかすれがあり、そのノズルの目詰まりを解消したいときなどはそれを利用すると他のインクを無駄に消費することがありません。詳しくは、それぞれのプリンタドライバガイドをお読みください。
- プリンタを長時間使用しなかった場合で、プリントヘッドのクリーニングを５回以上繰り返しても正常に印刷されないときは、プリンタドライバの「ユーティリティ」からヘッドリフレッシングを行うことをお勧めします。

BJカートリッジの交換（新しいBJカートリッジに取り換えるときは）

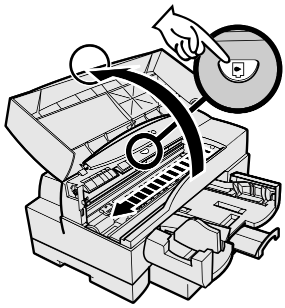
インクタンクを交換してもきれいに印刷できないときや、BJカートリッジに問題があるときは、BJカートリッジを交換します。
BJカートリッジの交換は次の手順で行ってください。

メモ　キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの〝環境保全と資源の有効活用〟の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジを、下記マークのある販売店または最寄りのサービスセンターやゼロワンショップなどのキヤノン販売営業拠点までお持ちいただければ幸いと存じます。

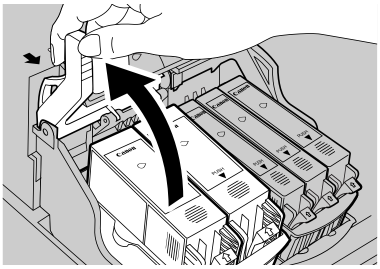
Canon
キヤノン製カートリッジ
回収協力店

1　**電源が入っていることを確認して、フロントカバーの取っ手に指をかけ、カバー全体を持ち上げて開けます。**

交換ボタンを押します。
BJカートリッジホルダが交換ポジションまで移動します。

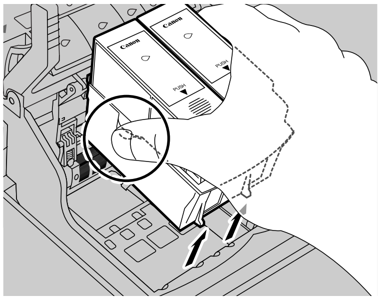


2　**BJカートリッジ固定レバー(ブラックBJカートリッジまたはフォトBJカートリッジを交換するときは左のレバー、カラーBJカートリッジを交換するときは右のレバー)を上げます。**

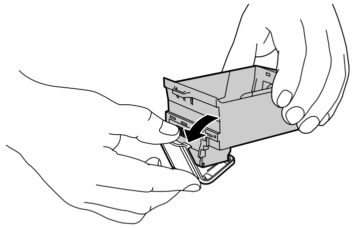


3　**BJカートリッジをインクタンクが入ったまま、持ち上げて取り出します。**

お願い　BJカートリッジはBJカートリッジ左または右にある半円形の突起を持って持ち上げてください。BJカートリッジのプリントヘッドや電極部には手を触れないように注意してください。

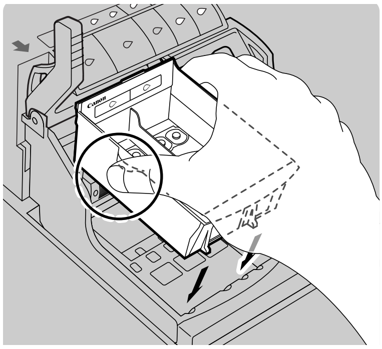


4 新しいBJカートリッジを袋から取り出し、保護キャップを取り外します。



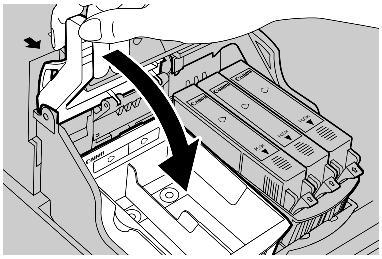
注意 BJカートリッジのプリントヘッドや電極部には手を触れないように注意してください。保護キャップは再利用しないでください。

5 BJカートリッジを、BJカートリッジホルダに置きます。

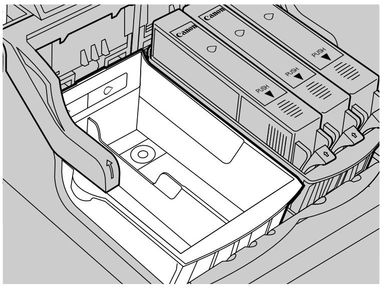


お願い BJカートリッジの左または右側にある半円形の突起を持って、手前についている小さな突起をBJカートリッジホルダの溝に沿わせ、プリントヘッドを軽く浮かせるように置いてください。BJカートリッジを強く押し込むと、プリントヘッドにキズが付き、正常に印刷できなくなるおそれがあります。

6 BJカートリッジ固定レバーを止まるまでしっかりと下げます。



7 インクタンクを新しいBJカートリッジに取り付けます。



メモ
- ●インクタンクは、取り外したBJカートリッジに付いていたものを利用するか、新しいインクタンクを用意してください。インクタンクの取り外し、取り付け方法はP.63インクタンクの交換方法を参照してください。
- ●フロントカバーを閉めるとプリントヘッドの自動クリーニングなどの回復動作を開始します。回復動作は約４分かかります。

お願い BJカートリッジを交換した後は、プリントヘッドの位置調整(→P.69)を行うことをお勧めします。

プリントヘッドの位置調整

BJ F8500は複数のプリントヘッドを使って印刷しています。BJカートリッジを取り換えたときは、より精度の高いきれいな印刷結果を得るためにプリントヘッドの位置調整を行ってください。BJカートリッジ交換後は、「プリントヘッドの位置調整」を行うことをお勧めします。
プリントヘッドの位置調整はプリンタドライバのユーティリティで行います。詳しくはスタートガイドP.16を参照してください。

1 **A4サイズの普通紙を2枚シートフィーダにセットします。**

2 Windows **[スタート]－[設定]－[プリンタ]を選択します。**

Macintosh **ファイルメニューの[用紙設定]を選択します。**

3 Windows **BJ F8500のプロパティを選択し、[ユーティリティ]タブをクリックします。**

Macintosh **[ユーティリティ]ボタンをクリックします。**

4 **[ヘッド位置調整]ボタンをクリックします。**

5 **基本解像度調整用パターンが印刷されるので、その結果を見てぴったりと重なった番号を画面の指示に従って入力します。**

6 **基本解像度の位置調整が終わると**
高解像度調整用パターンが印刷されます。
同様にその結果を見て、ぴったりと重なった番号を
画面の指示に従って入力し終了します。

プリンタを清掃する

トラブルを防ぐために定期的にプリンタを清掃することをお勧めします。

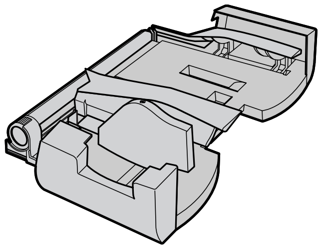
⚠ 注意

- **清掃するときは必ず電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源が入ると、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。**
- **キャビネットを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使わないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。**

プリンタを清掃するときは次の手順に従ってください。

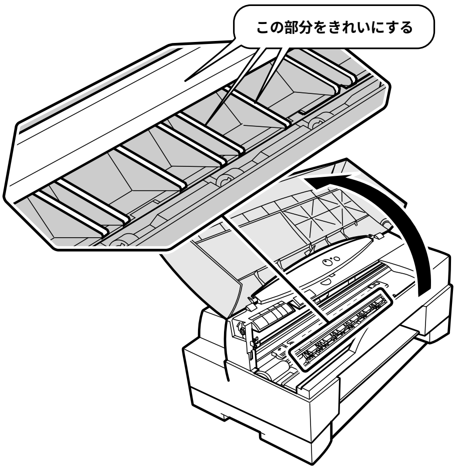
1 **プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。**

2 **排紙受けユニットを取り外し、汚れた部分を柔らかい布で拭いてください。**



3 **フロントカバーの取っ手に指をかけ、カバー全体を持ち上げて開けます。**

4 **プリンタ内部を見て、インクの飛び散り、紙粉、ホコリの有無などを確かめます。図の部分が汚れていた場合は柔らかい布で拭いてください。汚れがひどく、落ちないときは、水で湿らせた布を堅く絞って拭いてください。**



5 **フロントカバーの左右のカドを両手で持って、カバーを閉めます。ボディを柔らかい布で清掃します。**

プリンタを輸送するときは

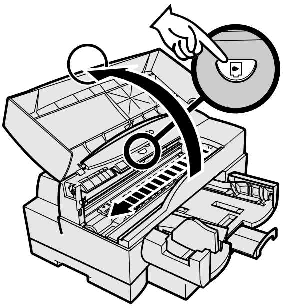
引っ越しなどでプリンタを輸送するときは次の手順に従って梱包してください。

⚠ 注意

- **シートフィーダ、プリントヘッドなど、激しい振動を受けると損傷する恐れがあります。運搬には十分注意してください。**

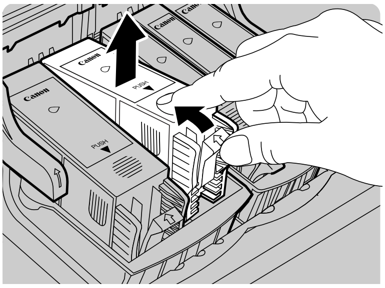
---

1 **電源が入っていることを確認し、フロントカバーの取っ手に指をかけ、カバー全体を持ち上げます。交換ボタンを押すと、BJカートリッジホルダが交換ポジションまで移動します。**



---

2 **インクタンクの手前についている小さな突起部を押しながら上に引き上げてすべてのインクタンクを取り外します。**

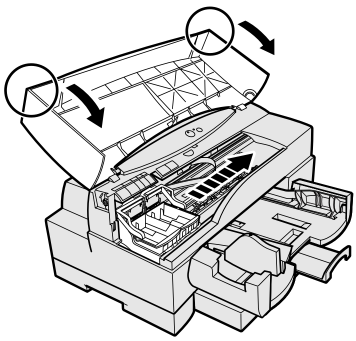


お願い
- BJカートリッジは取り外さないでください。
- 取り外したインクタンクは、インクが漏れても大丈夫なようにビニール袋に入れて、プリンタと一緒に梱包してください。

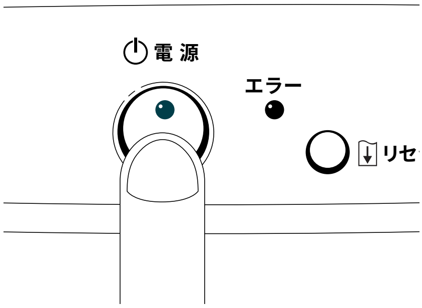
---

3 **フロントカバーの左右のカドを両手で持って、カバーを閉めます。**

メモ
インクタンクがないため、BJカートリッジホルダが、右端のホームポジションへ戻るのにしばらく時間がかかります。

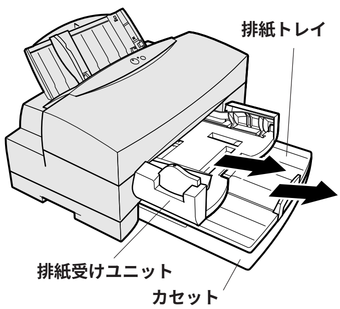


4 ピッピッピッとブザーが3回鳴り、エラーランプが点灯しますが、電源ボタンを押し電源をオフにします。



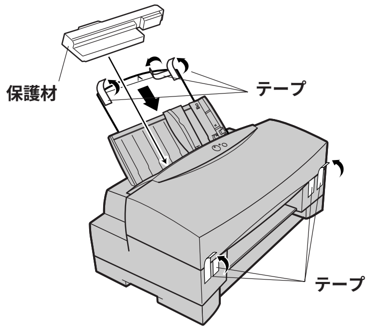
お願い 電源コードを先に抜かないでください。BJカートリッジがホームポジションに戻らないことがあり、故障の原因になります。

5 インタフェースケーブル、電源コード、カセット、排紙トレイ、排紙受けユニットを取り外します。

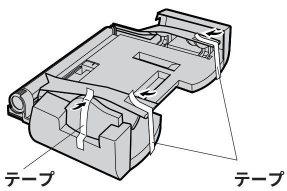


お願い プリンタに装着されている2つのBJカートリッジ以外のBJカートリッジは保管箱に入れたまま輸送してください。

6 保護材、テープで固定し、箱に入れてください。



メモ
- シートフィーダの中に、購入時についていた保護材を入れ、所定の場所を同様にテープで止めてください。
- 排紙受けユニットも左右の排紙受けをテープで止めます。
- 購入時の箱と緩衝材を使用して、梱包箱の中ぶたに書かれた図を参考に箱詰めし、輸送してください。



付録

操作ガイド電子版(Windows用)の使いかた

本製品にはWindowsヘルプ形式の操作ガイド電子版(フロッピーディスク1枚)が同梱されています。このためお手持ちのコンピュータにインストールするだけで、BJ F8500の操作方法や困ったときの解決方法などが、いつでも簡単に見ることができます。
なおご使用に際しての注意事項などがフロッピーディスクのREADME.TXTファイルに説明されていますので、インストールの前にお読みください。Windowsのアクセサリに入っている「メモ帳」やお手持ちのワープロソフトを使って、このREADME.TXTファイルを開いて見ることができます。

Windows95でのインストール方法

1 **Windows 95が起動していることを確認したら、「操作ガイド電子版」のフロッピーディスクをコンピュータのフロッピーディスクドライブにセットします。**

なおフロッピーディスクは2HD(1.44MB)タイプなので、対応したフロッピーディスクドライブにセットしてください。

2 **Windows 95の「マイコンピュータ」のアイコンをダブルクリックして開き、その中から「コントロールパネル」をダブルクリックして開きます。**

3 **コントロールパネルの中から「アプリケーションの追加と削除」のアイコンを、ダブルクリックして開きます。ダイアログボックスが表示されます。**



4 **ダイアログボックスの中の「セットアップ(I)」ボタンを1回クリックします。**

するとセットアップのダイアログボックスが表示されるので、その中から「次へ」のボタンを1回クリックします。続いて「操作ガイド電子版」がコピーされるディレクトリが表示されるので、「完了」のボタンを1回クリックします。操作ガイド電子版のインストールが開始されます。

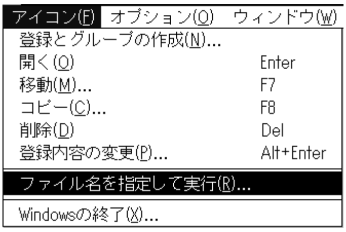
5 **インストールが正しく終了すると、デスクトップ上に「BJ F8500操作ガイド電子版」のアイコンが表示されます。**

Windows3.1でのインストール方法

1 **Windows3.1が起動していることを確認したら、「操作ガイド電子版」のフロッピーディスクをコンピュータのフロッピーディスクドライブにセットします。**

なおフロッピーディスクは2HD(1.44MB)タイプなので、対応したフロッピーディスクドライブにセットしてください。

2 **Windows3.1プログラムマネージャの「アイコン」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。**



3 **次にダイアログボックスが表示されますので、「A:\SETUP」(DOS/Vパソコンの場合)または「C:\SETUP」(PC98の場合)と入力してください。**

Aドライブや Cドライブ以外にフロッピーディスクをセットした場合には、そのドライブ名を入力してください。

4 **インストールが開始され、正しく終了すると、デスクトップ上に「BJ F8500操作ガイド電子版」のアイコンが表示されます。**

Windows 98でのインストール方法

Windows 95のインストール方法と同じ手順になります。

操作方法

操作ガイド電子版の操作は、Windowsの「ヘルプ」と同じになります。見たい項目(トピック)をクリックするだけで必要な情報がいつでも得られます。また印刷も行えます。「ヘルプ」の使い方や機能の詳細については、お手持ちのWindowsのマニュアルをお読みください。

オプションと消耗品

BJ F8500には、以下のオプションと消耗品が用意されています。
キヤノン指定またはこれと同等の品質を有するもの以外をご使用になると正常な印刷結果が得られないことがあります。ご購入のさいは、販売店にお問い合わせください。

商品名	備考
インタフェースケーブル	
IFC-98B/15	NEC PC-98シリーズ(NXを除く)用36ピンハーフピッチコネクタ型ケーブル
IFC-DOSV/15	DOS/V対応パソコン(NEC PC-98NXシリーズを含む)用25ピンコネクタ型ケーブル
IFC-MAC/20	Macintosh用８ピンコネクタ型ケーブル
BJカートリッジBC-80	ブラックBJカートリッジ
インクタンクBCI-8BK	ブラックインク
普通紙耐水強化剤BCI-8WF	普通紙耐水強化剤
BJカートリッジBC-81	カラーBJカートリッジ
インクタンクBCI-8Y	イエローインク
インクタンクBCI-8C	シアンインク
インクタンクBCI-8M	マゼンタインク
BJカートリッジBC-82フォト	フォトBJカートリッジ
インクタンクBCI-8PMフォト	フォトインク(マゼンタ)
インクタンクBCI-8PCフォト	フォトインク(シアン)
インクタンクBCI-8PBKフォト	フォトインク(ブラック)
保管箱SB-80	BJカートリッジ用保管箱
バブルジェット用紙 LC-301	BJ専用普通紙
高品位専用紙 HR-101S	BJ専用コート紙
フォト光沢紙 GP-301	BJ専用光沢紙
フォト光沢カード FM-101	BJ専用光沢カード
フォト光沢フィルム HG-201	BJ専用光沢フィルム
OHPフィルム CF-102	BJ専用OHPフィルム
フォト光沢ハガキ KH-201N	BJ専用光沢ハガキ
BJクロス FS-101	BJ専用クロス
Tシャツ転写紙 TR-201	BJ専用Tシャツ転写紙
バナー紙(長尺紙)	BJ専用バナー紙
ユニバーサルペーパーカセットUC-8501	下段カセットおよびカセット設置台
ESC/Pエミュレーションソフト※	DOS環境で印刷するためのユーティリティソフトウェア

※ESC/Pエミュレーションソフトは市販されていません。郵送サービスまたはパソコン通信(NIFTY SERVE)でのダウンロードで入手できます。

郵送サービス:

同梱の申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、郵便振込で郵送サービス手数料を指定の振込先に振り込んでください。入金を確認しだい、フロッピーディスクを郵送いたします。

パソコン通信でのダウンロード:

NIFTY SERVEのキヤノンステーションでダウンロードすることもできます。NIFTY SERVEにアクセスしたら「GO SCANON2」と入力してください。［データライブラリ］の［【BJ/BJC】ドライバ・ライブラリ］にESC/Pエミュレーションソフトが登録されています。

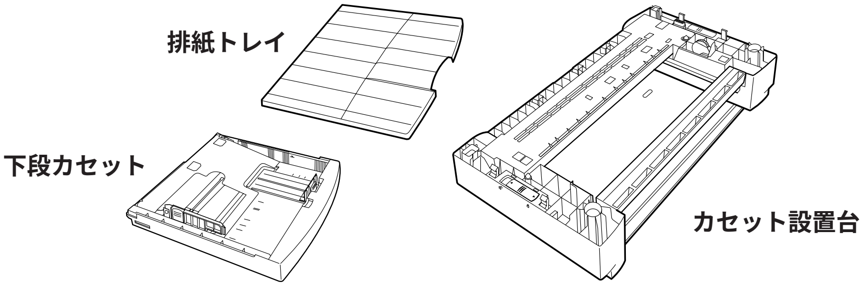
なお、通信料金はお客様のご負担になります。

下段カセット(オプション)を取り付ける

オプションの下段カセットを取り付けることで、上段カセットとともに、よく使う異なるサイズの用紙を使い分けたり、同じサイズの用紙の連続給紙などが可能になります。

お願い　BJ F8500に下段カセットを取り付ける(または取り外す)場合は、電源を切り、電源コードを抜いて排紙受けユニットおよび上段カセットは必ず取り外して作業を行ってください。

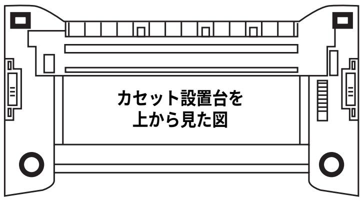
1　オプションカセットには次のものが含まれています。不足品がないか確認し、輸送用保護材を取り外してください。



メモ　下段カセット用の排紙トレイには、補助トレイは付いていません。

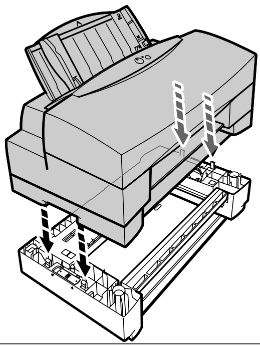
2　カセット設置台を安定したところに置きます。

お願い　排紙受けユニットおよび上段カセットは必ず取り外しておきます。

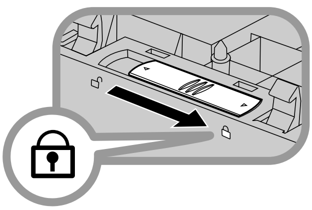


3　プリンタ本体をカセット設置台に、真上から静かに重ねます。ツメと受けが正確にかみ合うように気をつけてください。

お願い　プリンタを持ち上げる時は、必ず二人で、片手でプリンタ両サイド下の取っ手を持ち、もう一方の手で本体を支え、静かに持ち上げてください。

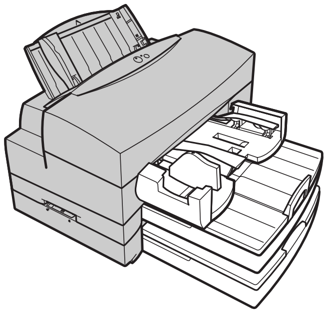


4　固定ボタンが🔒の位置になっていることを確認してください。🔓の場合は、🔒の位置にスライドさせてください。



注意　ロックが完全でないと運ぶときにカセット設置台が落ちて怪我をする可能性があります。ロックを完全にしてください。

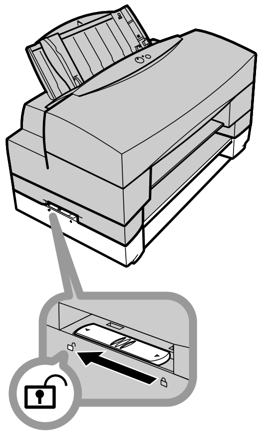
5 **排紙受けユニットと上段カセット、下段カセットをそれぞれの差し込み口に、奥までしっかり差し込みます。**



取り外す場合

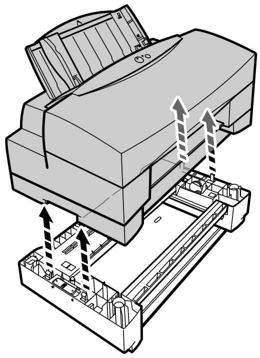
1 **固定ボタンをからにスライドさせます。**

お願い　排紙受けユニットおよび上段カセットは必ず取り外しておきます。



2 **プリンタ本体を真上に持ち上げ、取り外します。**

お願い　プリンタを持ち上げる時は、必ず二人で、片手で取っ手を持ち、片手で本体を支え、静かに持ち上げるようにしてください。



仕様

印刷方式	シリアルバブルジェット方式
印刷解像度	最高1200dpi
印刷速度 （弊社標準パターンにて測定）	ブラック印刷　高速：5 ppm(A4) 　　　　　　　標準：3.4 ppm(A4) カラー印刷　高速：4 ppm(A4) 　　　　　　　標準：2.2 ppm(A4) フォト印刷　高品位：0.3 ppm(A4)
印刷幅	最長323mm
改行速度	140ms(1line=256/600inch)
給紙方法	シートフィーダ(普通紙、高品位専用紙、官製はがき、OHPフィルム、封筒、フォト光沢紙、フォト光沢カード、フォト光沢ハガキ、フォト光沢フィルム、バナー紙、Tシャツ転写紙) カセット(普通紙、高品位専用紙) 手差し給紙(BJクロス、厚紙(最大紙厚：0.25 mm))

使用できる用紙と最大積載枚数

用　紙	ｼｰﾄﾌｨｰﾀﾞ	手差し	上段カセット	下段カセット（オプション）
普通紙	10mm(約100枚※)	1枚	25mm(約250枚※)	25mm(約250枚※)
※最大積載枚数は$64g/m^2$の普通紙の場合				
高品位専用紙　HR-101S	10mm(約80枚)	1枚	25mm(約200枚)	25mm(約200枚)
厚紙	ー	1枚	ー	ー
フォト光沢紙　GP-301	20枚	1枚	ー	ー
フォト光沢カード　FM-101	20枚	ー	ー	ー
フォト光沢フィルム　HG-201	1枚	1枚	ー	ー
OHPフィルム　CF-102	50枚	1枚	ー	ー
官製はがき	50枚	ー	ー	ー
フォト光沢ハガキ　KH-201N	20枚	ー	ー	ー
封筒(洋形４号、洋形６号)	15枚	ー	ー	ー
BJクロス　FS-101	ー	1枚	ー	ー
Tシャツ転写紙　TR-201	1枚	1枚	ー	ー
バナー紙(長尺紙)	1枚(最長5940mm)	ー	ー	ー

インタフェース※1	IEEE1284準拠パラレルインタフェース(Windows)／ RS422準拠シリアル(Macintosh)	
プリントヘッド		
ブラックBJカートリッジ	ブラック	512ノズル
	普通紙耐水強化剤	256ノズル
カラーBJカートリッジ	マゼンタ	256ノズル
	イエロー	256ノズル
	シアン	256ノズル
フォトBJカートリッジ	フォトマゼンタ	256ノズル
	フォトシアン	256ノズル
	フォトブラック	256ノズル
インク	ブラック、イエロー、シアン、マゼンタ、普通紙耐水強化剤 フォトマゼンタ、フォトシアン、フォトブラック	
印刷可能枚数（A4で測定）	ブラック	約940枚(1枚当たり1500文字)
	カラー	約450枚(1枚に各色7.5%印刷した場合)
	普通紙耐水強化剤	約1870枚(ブラックのみ使用で1枚当たり1500文字の場合) 約380枚(各色1枚当たり7.5%印刷した場合)
	フォト	約390枚(各色1枚当たり7.5%印刷した場合)
動作音	約48dB(A)	
電源	AC100V	
消費電力	最大約12W(待機時)　最大約55W(印刷時)※2	
寸法	本体のみ　約604mm(W)×584mm(D)×350mm(H) 下段カセット付き 約604mm(W)×584mm(D)×440mm(H)	
重量	約19.1kg(上段カセット、BJカートリッジ、インクタンク含む) 約25.1kg(上段カセット、下段カセット、BJカートリッジ、インクタンク含む)	

※1　インタフェースケーブルは2m以内のものをお使いください。
※2　消費電力は下段カセット使用時に最大となります。

用語集

B

BJカートリッジ
プリンタが印刷するときの心臓部にあたる。インクタンクを取り付けるためのプリントヘッドのついたカートリッジ。

D

DPI
Dots per Inchの略。1インチあたりにあるドットの数を表わす。ドット密度の単位。数字が大きいほど密度がきめ細かな(高精細)絵や文字となる。

DTP
DeskTop Publishingの略。出版物の執筆・デザインから印刷までの制作課程をコンピュータシステムにより統合化し、効率よくおこなう方式。

I

IEEE1284
アメリカ電気電子学会(Institute of Electeical and Electronics Engineers)で決められたコンピュータがプリンタを接続するための双方向をサポートしたパラレル通信ポートの規格。

L

Legal
215.9mm×355.6mmのサイズの紙。

Letter
215.9mm×279.4mmのサイズの紙。

R

RS422
Macintoshの通信ポート。プリンタなどの周辺機器とデータをやりとりするための通信ポートのコネクタ規格。

い

色補正
写真などを自然な表現に近づけたり、特殊な効果を与えるため印刷の仕上がりの色味などを変えること。プリンタドライバの色補正で設定できる。

印刷品位
印刷の仕上がりのきめ細かさのこと。きめの細かいものを高品位といい、荒いものを低品位という。印刷の品位が高いほど印刷に時間がかかり、低いものほど短くて済む。プリンタドライバで設定できるので、写真などをきれいに印刷したい場合は、高品位に、文字などを早く印刷したい場合は低品位に設定するとよい。

インストール
ソフトウェアをハードディスクなどに書き込んで、そのソフトウェアをコンピュータで使えるようにすること。

インタフェース
コンピュータとプリンタなどの装置間でデータをやり取りするための整合性をとる装置または手順。

き

キャッピング動作
プリントヘッドに残っているインクが乾燥して目詰まりをおこすことを防ぐため、プリンタのホームポジションにあるキャップをプリントヘッドにかぶせる動作。プリンタの電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にホームポジションに戻りこの動作をおこなう。

こ

交換ボタン
フロントカバーを開けるとプリンタ中央部にある青いボタン。BJカートリッジを交換ポジションまたはホームポジションに移動させることができる。

コート紙
発色性を上げるために紙の表面を特殊コーティングした用紙。

し

シアン
イエロー(Y)、マゼンタ(M)とともに、色の3原色(YMC)の中の一色。光の3原色青、緑、赤(BGR)の青と緑の中間に位置する空色に近い色。カラープリンタはYMCの3原色と黒の組み合わせで全色を表現する。

シートフィーダ
複数枚の用紙を連続して給紙することができるプリンタ上部の給紙口。用紙をセットしておけば自動的に給紙するのでオートシートフィーダともいう。

シリアル
データのやりとりをする時のインタフェースの１方式。データを順番(シリアル)にやりとりするのでこの名がついた。１本の回線で１度に１ビットずつのデータのやりとりができる。

せ

セントロニクス
プリンタに一般的に使われているパラレルインタフェースの規格の１つ。

専用紙
高品位専用紙、フォト光沢フィルム、フォト光沢ハガキ、BJクロス、Tシャツ転写紙、OHPフィルムなど、フィルムベースや用紙の表面、裏面を加工・コーティングした特殊目的の用紙

は

バブルジェット
ノズル内にできた気泡(バブル)の膨張する力を利用して用紙にインクを噴射する方式。

パラレル
データのやりとりをする時のインタフェースの１方式。複数の回線を並列(パラレル)に接続し１度に１バイトずつのデータのやりとりができる。

版下
印刷用の版を作るための原稿。もっとも一般的な写真製版の場合、版下を撮影してフィルムをおこし、印刷用の版材に焼き付け印刷用の版をおこす(刷版)。

ふ

フォトインク
写真などの微妙な中間調を再現し、自然な表現を可能とするため標準のカラーインクより淡くしたカラーインク。

フォント
文字のデザインいわゆる書体のこと。代表的なものとしてゴシック、明朝などがある。

普通紙耐水強化剤
普通紙に印刷したインクが水などによって流れ落ちるのを防ぐための無色透明の液体。印刷用のインクとともに紙に吐出され、インクを用紙に凝固・定着させる。

プリンタドライバ
コンピュータからプリンタを使用するためのソフトウェア。

プリントヘッド
BJカートリッジの底面にあるインクを噴射する部分。インクが噴き出す穴をノズルと呼び、このノズルが目詰まりをおこすとカスレ等の原因となる。

プリントヘッドクリーニング
インクが固まりプリントヘッドの目詰まりを防ぐためにプリントヘッドのインクを吸引して回復させる動作。プリンタドライバのユーティリティまたはリセットボタンを押して実行できる。

へ

ヘッド位置調整
同じ位置で重なるはずの線がずれたり、色がずれたりする誤差をなくすためにおこなう調整。プリンタドライバのユーティリティでヘッド位置調整をおこなうことができる。

ほ

ホームポジション
プリンタを使っていないときや印刷していないときBJカートリッジが待機する場所。プリントヘッドをキャッピングし保護する。

ま

マゼンタ
シアンとともに、色の３原色の一色。青と赤の中間に位置するピンクに近い色。

索　引

製品取り扱い方法ご相談窓口一覧

【電話サポート】

電話サポート受付時間 / 月曜〜金曜（祝日を除く）：　9:00〜12:00、 13:00〜18:00、19:00〜21:00
土曜日、日曜日、祝日（1/1〜1/3は休み）：　10:00〜12:00、 13:00〜17:00

音声メッセージがご案内しますので、その案内に沿って切らずにボタンを押してください。

お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット　**0570-01-9000**

全国64ヵ所の最寄りサービス拠点までの電話料金のみで製品に関するご質問にお電話でお答えします。

尚、携帯電話をご使用の場合は、043-211-9330をご利用ください。

東京・大阪・札幌・旭川・帯広・函館・青森・ 秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・ 福島・郡山・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・水戸・つくば・ 大宮・千葉・甲府・立川・ 横浜・厚木・沼津・静岡・浜松・ 豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・ 和歌山・福井・金沢・富山・京都・ 大津・神戸・姫路・岡山・ 高松・徳島・高知・松山・広島・福山・山口・鳥取・松江・北九州・ 福岡・久留米・大分・佐賀・長崎・ 熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

*サポート時間については予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

お問い合せの前に

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。また、かけまちがいのないよう電話番号はよくお確かめください。

【プリンタの接続環境について】

BJプリンタと接続しているパソコンの機種名：

内蔵メモリ容量：　　　　　MB／**ハードディスク容量：**　　　　　MB

使用しているOS：Windows□98／□95／□3.1／□NT(Ver.　　　)　□MS-DOS　□その他（　　　）

パソコン上で選択しているプリンタドライバの名称：

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン：

接続方法：□直結　□ネットワーク（種類：　　　　　）□その他(　　　　　　　　)

接続ケーブルメーカー：　　　　　　　　／**品名：**

【プリンタの設定について】

プリンタドライバのバージョンNo.：

パソコン上プリンタ設定のバージョン情報で確認できます。

ご使用の動作モード：□BJ　□ESC/P　□PC-PR201　□その他(　　　　　　　　)

【エラー表示】

エラーメッセージ（できるだけ正確に）：

エラー表示の場所：□パソコン　　　　　　□プリンタ

1998年12月1日現在

Windowsプリンタドライバをご使用のお客様へ

バージョンアップ時のご案内とファイル入手方法

プリンタドライバに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびファイルの入手窓口は次のとおりです。
ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

【製品に関する情報の入手方法】

次の方法で日本語Windows対応プリンタドライバのバージョンアップなど製品に関する情報をひきだすことができます。

● FAX情報サービス

札幌(011)728-0485 秋田(0188)26-0441 仙台(022)211-5730 東京(03)3455-5962 名古屋(052)936-0758
大阪(06)6444-4580 広島(082)240-6729 高松(087)826-1621 福岡(092)411-9510
お手元のFAX（GⅢモード対応）から電話をし、メッセージに沿って操作をしてください。情報内容については番組目次=情報番号“１”でご確認ください。
＊ プッシュ回線でご利用ください。（ダイヤル回線の場合はトーン切替が必要になります）
＊ 通信料はお客様のご負担になります。

● パソコン通信：NIFTY SERVEキヤノンステーション

NIFTY SERVEにアクセス後、「GO SCANON2」と入力してください。「インフォメーションサポートコーナー２」の「電子会議」の中の「プリンタBJ/BJCインフォメーション」に記載されています。
またキヤノン・ステーションでは、「メール告知サービス」を行なっております。
「メール告知サービス」とは、キヤノン製品をお持ちのお客様、キヤノン製品にご興味のあるお客様に対して、各種新商品の情報やドライバのアップデート情報を、お客様のご要望に応じてメールにてご提供するサービスです。詳細につきましては、【ゼネラル】インフォメーションの165番に掲載しておりますので、ご参照ください。
＊ 通信料はお客様のご負担になります。

●インターネット：キヤノン販売ホームページ http://www.canon-sales.co.jp/

プリンタドライバのバージョンアップを含む製品に関する情報を提供しています。
上記のインターネットホームページ「meet the wonderBJ」「ピクセラホームページ」をご覧ください。
＊ 通信料はお客様のご負担になります。

【最新プリンタドライバの入手方法】

次の方法でキヤノン製プリンタドライバの最新バージョンを入手できます。

① パソコン通信：NIFTY SERVEキヤノンステーションよりダウンロードできます。NIFTY SERVEにアクセス後、「GO SCANON2」と入力してください。登録されているプリンタドライバ一覧については「インフォメーション・サポートコーナー2」の「データライブラリ」の中の「【BJ/BJC】ドライバ・ライブラリ」の「1.データ一覧」に記載されています。
＊ 通信料はお客様のご負担になります。

② インターネット：キヤノン販売ホームページよりダウンロードできます。
キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。
（キヤノン販売ホームページ http://www.canon-sales.co.jp/）
＊ 通信料はお客様のご負担になります。

③ 郵送サービス：プリンタドライバのFDを郵送でお送り致します。

●お申し込み方法 郵便局に備え付けの払込用紙に下記の必要事項をご記入ください。

口座番号：00160-1-51418 口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係
「通信欄」には、必ずプリンタドライバの「品番・名称・FD種別」をご記入ください。
「払込人住所氏名欄」の記載住所へ発送させていただきます。
お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
＊ プリンタドライバの種類/バージョン・手数料などの詳細はキヤノンFAX情報サービス（情報番号99#）でご確認ください。
＊ ドライバの発送に払込後1週間程度かかる場合がありますのでご了承ください。また当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。

（上記の入手方法、電話番号等は、予告なく変更となる場合があります　1999年1月1日現在）

Canon

BJ F8500

操作ガイド

この印刷物は古紙を５０％含んだエコマーク認定の再生紙を使用しています。

QA7-0338-V02 0499AB

PRINTED IN JAPAN